Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX P5000

クールピクス P5000

使用説明書

Jp

この使用説明書では、以下のような方法で、知りたいことを簡単に探し出すことができます。

目次 から → vi

撮影、再生、メニューなど、項目別に探すことができます。

目的別かんたん検索 から → xi

使いたい機能や知りたい機能を、かんたんに探すことができます。
機能名がわからなくても大丈夫です。

索引 から → 148

さまざまな項目が五十音順に一覧にまとめられているので、
機能名や用語がわかっているときに便利です。

警告メッセージ から → 130

表示パネルやファインダー、液晶モニターに表示されている
警告メッセージから、今のカメラの状態を知ることができます。

故障かな？と思ったら から → 134

カメラの動作がおかしいときに、原因を調べるのに役立ちます。

ヘルプ機能について

このカメラにはヘルプ機能が付いています。メニュー操作時などに、液晶モニターでその項目の意味などを調べることができます。詳しくは P.9 をご覧ください。

商標説明

- Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh®、Mac OS®、QuickTime® は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SD ロゴおよび PictBridge ロゴは商標です。
- D- ライティングは apical アピカル社の技術によるものです。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
見ないこと	**レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと** 失明や視力障害の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
警告	**ストラップが首に巻き付かないようにすること** **特に幼児、児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電池または専用 AC アダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**AC アダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは、電源（電池や AC アダプター）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。AC アダプターをご使用の際には、AC アダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり、大きな音がして、聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

危険（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL5 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX P5000 に対応しています。EN-EL5 に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

注意（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因になることがあります。

警告（バッテリーチャージャーについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグを抜く際、やけどに充分注意してください。販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因になることがあります。
禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

注意（バッテリーチャージャーについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

目 次

付録 123

索引 148

目的別かんたん検索

使いたい機能や知りたい機能から、説明が記載されているページをかんたんに調べることができます。

カメラの○○について知りたい

使いたい機能・知りたい機能	キーワード	📖
液晶モニターの表示の意味を知りたい	液晶モニター	6
液晶モニターの警告表示の意味を知りたい	警告メッセージ	130
メニューの意味を知りたい	ヘルプ機能	9
バッテリーの残量を確認したい	バッテリー残量の表示	19
露出について知りたい	露出について	47
どんなアクセサリーが使えるの？	別売アクセサリー	123
別売のコンバーターを使いたい	コンバーター	104、125
別売のスピードライト（フラッシュ）を使いたい	スピードライト	126
SD カードを買いたい	推奨 SD カード	124
カメラを点検や修理に出したい	アフターサービスについて	151
カメラを掃除したい	カメラのお手入れ方法	127

カメラの設定を○○したい

使いたい機能・知りたい機能	キーワード	📖
液晶モニターがすぐに消えないようにしたい	オートパワーオフ	120
ファインダーを使うので液晶モニターを消したい	モニターボタン	10
液晶モニターの明るさを調整したい	画面の明るさ	116
内蔵時計の時刻を合わせ直したい	日時設定	15、114
海外に行くので、内蔵時計を現地時刻に合わせたい	時差のある地域で使うには	115
最初の設定に戻したい	設定クリアー 初期設定一覧	122 140
メニューに表示される言語を変えたい	言語 /Language	121
ピント合わせをするときに発光する光（AF 補助光）を出さないようにしたい	AF 補助光	118
カメラを操作するときやシャッターをきるときに鳴る電子音を出さないようにしたい	操作音	119

撮影するときに○○したい

使いたい機能・知りたい機能	キーワード	
とにかく簡単に撮影したい	オート撮影モード	19
撮影シーンに合わせて簡単に撮影したい	シーンモード	33
望遠側で手ブレを気にしないで写真を撮りたい	ブレ軽減モード	44
薄暗いところでも手ブレを気にしないで写真を撮りたい	高感度モード	45
動画を撮影したい	動画モード	60
音声だけを録音したい	音声レコード	66
内蔵フラッシュを使いたい	フラッシュモード	27
セルフタイマーを使いたい	セルフタイマー	30
花や虫などの小さな被写体や、山などの遠くにある被写体にピントを合わせて撮影したい	フォーカスモード	31
画像を明るく、または暗くしたい	露出補正	32
露出を自分で決めたい	露出モード **P、S、A、M**	46
大きくプリントするための画像を撮影したい	画質、画像サイズ	87、88
撮影できるコマ数を増やしたい	画質、画像サイズ	87、88

撮影した画像で○○したい

使いたい機能・知りたい機能	キーワード	
撮影した画像をカメラで見たい	画像をカメラで再生する	25
いらない画像を 1 コマずつ消したい	画像を削除する	25
いらない画像をまとめて消したい	削除	109
画像を拡大して、ピントの具合を確認したい	拡大表示	54
大切な画像なので、誤って削除しないようにしたい	プロテクト設定	109
画像を非表示にしたい	非表示設定	110
暗くなってしまった部分を明るく修正したい	D- ライティング	56
画像の一部を切り抜きたい	トリミング	57
撮影した画像のサイズを小さくしたい	スモールピクチャー	58
画像に音声メモを付けたい	音声メモ	59
画像をテレビで見たい	テレビに接続する	72
画像をパソコンに転送したい	パソコンに接続する	73
プリンターにカメラを直接つないで印刷したい	プリンターに接続する	77
画像に日付を入れて印刷したい	日付プリント	84
プリントサービス店にプリントを依頼したい	プリント指定	83

はじめに

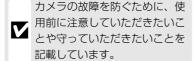
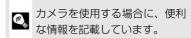
使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX P5000をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録が行えます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

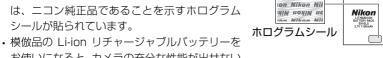
●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプター、スピードライトなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

ホログラムシール

- Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードすることができます。
  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/
  ニコンサービスセンターで新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限していることがありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

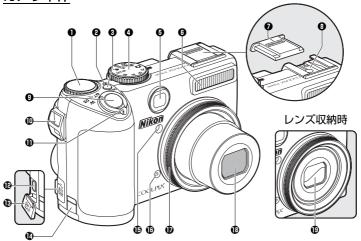
●カメラやメモリーカードを譲渡 / 廃棄するときのご注意

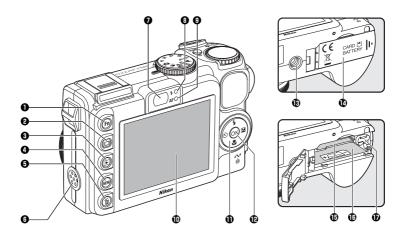
メモリー（SD カード / カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡 / 廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。
メモリーを譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］の［**撮影した画像**］（114）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡 / 廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

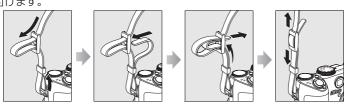
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

各部の名称

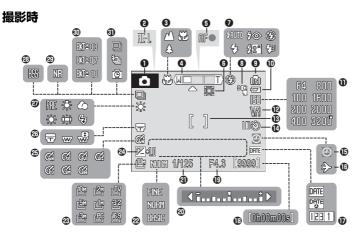
カメラ本体

1 コマンドダイヤル............................ 26、33、53、54、61、122
2 電源ランプ 14
3 電源スイッチ 14
4 モードダイヤル............................ 8
5 ファインダー...............................21
6 内蔵フラッシュ...........................27
7 アクセサリーシューカバー 126
8 アクセサリーシュー................126
9 シャッターボタン.......................23
10 ストラップ取り付け部（2ヵ所）
11 ズームレバー...............................22
- ▦（サムネイル表示）....... 53
- Q（拡大）............................ 54
- ?（ヘルプ）............................9

12 ケーブル接続端子 ....72、75、78
13 端子カバー................72、75、78
14 パワーコネクターカバー（別売の AC アダプターキット接続時に使用）..................... 123
15 セルフタイマーランプ....30、128
AF 補助光 ....29、118、128
16 マイク........................59、60、66
17 レンズリング 125
18 レンズ...........................127、144
19 レンズバリアー 128

1	Fn（ファンクション）ボタン .... 33、61、122
2	|◯|（モニター）ボタン 10
3	▶（再生）ボタン ... 25、26、53
4	MENU（メニュー）ボタン .... 33、61、70、85、106
5	🗑（削除）ボタン ....25、53、59、65、69
6	スピーカー .... 59、65、68
7	ファインダー.................................21
8	フラッシュランプ.......................27
9	AF ランプ.....................................23
10	液晶モニター ...6、10、19、20、116、127、144
11	マルチセレクター 9
12	⓪（決定）ボタン..........................9 〜（転送）ボタン 75
13	三脚ネジ穴
14	バッテリー /SD カードカバー .... 13、17
15	SD カードスロット 17
16	バッテリー室 13
17	バッテリーロックレバー........... 13

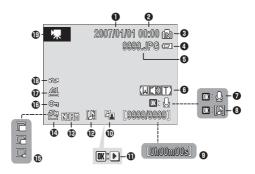
ストラップの取り付け方

付属のストラップは、図のようにカメラのストラップ取り付け部（2ヵ所）に取り付けます。

液晶モニター

説明のため、すべての表示を点灯させています。

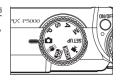
撮影時

1 撮影モード※1 …… 19、33、44、45、46、60
2 AE-L 表示 …… 43
3 フォーカスモード …… 31
4 ズーム表示 …… 22
5 AF 表示 …… 23
6 電子ズーム状態表示 …… 22
7 フラッシュモード …… 27
8 別売スピードライト表示 …… 126
9 内蔵メモリー表示 …… 20
10 バッテリー残量 …… 19
11 ISO 感度表示 …… 29、95
12 手ブレ補正表示 …… 20、118
13 AF エリア …… 23、35、101
14 セルフタイマー …… 30
15 時計マーク …… 130
16 ワールドタイム …… 114
17 デート写し込み …… 116
誕生日カウンター／日付登録番号表示 …… 117
18 記録可能コマ数（静止画）…… 19、89
記録可能時間（動画）…… 60、62
19 絞り値 …… 47、48、50、51
20 露出インジケーター …… 51
21 シャッタースピード 47、48、49、51
22 画質 …… 87
23 画像サイズ …… 88
24 露出補正マーク／露出補正値 …… 32
25 仕上がり設定※2 …… 90
26 コンバーター※2 …… 104
27 ホワイトバランス※2 …… 93
28 BSS※2 …… 99
29 ノイズ低減※2 …… 104
30 ブラケティング※2 …… 100
31 連写モード※2 …… 97

※1 撮影モードによって表示されるアイコン（絵文字）が異なります。
※2 モードダイヤルが P、S、A、M または HI ISO（高感度）のときに表示されます。

再生時

1	撮影日付 .... 15、114	10	D- ライティング済み表示 56
2	撮影時刻 .... 15、114	11	動画再生ガイド 65
3	内蔵メモリー表示........................25	12	音声メモ表示 59
4	バッテリー残量............................ 19	13	画質.. 87
5	ファイル名 142	14	画像サイズ.................................. 88
6	音量表示 .... 59、65	15	スモールピクチャー表示............ 58
7	音声メモ録音ガイド....................59	16	プロテクト表示 109
8	音声メモ再生ガイド....................59	17	プリント指定表示 83
9	画像の番号 / 全画像数 動画の再生時間............................65	18	転送マーク..........76、109、121
		19	動画モード.................................. 65

モードダイヤル

モードを切り換えるときは、モードダイヤルを回して、使用するモードのアイコン（絵文字）を指標に合わせます。

（オート撮影）モード（19）

オートで簡単に撮影できます。デジタルカメラを初めてお使いになる方におすすめです。

ブレ軽減モード（44）

［手ブレ補正］（118）と［BSS］（99）を使って手ブレや被写体ブレの影響を軽減します。明るい屋外でのズームを望遠側にした撮影に適しています。

高感度モード（45）

高感度で撮影することにより、薄暗いシーンでも手ブレや被写体ブレの影響を軽減し、その場の雰囲気を活かした撮影ができます。

露出モード P、S、A、M（46）

シャッタースピードや絞りなどを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しむことができます。

SET UP（セットアップ）モード（112）

セットアップメニューが表示されます。日時や画面の明るさなどを設定します。

（動画）モード（60）

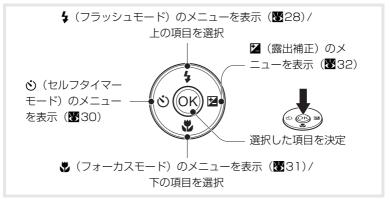
7種類の動画を撮影できます。

SCENE（シーン）モード（33）

17種類のシーンモードから選択するだけで、状況に適した撮影や音声レコードが楽しめます。

マルチセレクター

マルチセレクターは、**上**（⚡）、**下**（🌷）、**左**（⏲）、**右**（☒）のボタンと中央の Ⓚ ボタンを押して操作します。

撮影時に使う

メニュー画面で使う

ヘルプについて

このカメラでは、操作に関する説明を液晶モニターに表示することができます。? が右下に表示されているメニュー画面では、項目を選んでズームレバーを T（?）方向に回すと、選択中の項目に関する説明が表示されます。

- 元のメニュー画面に戻るには、もう一度ズームレバーを T（?）方向に回してください。

（モニター）ボタン

（モニター）ボタンを押すたびに、撮影時や再生時に液晶モニターに表示される情報を切り換えることができます。

撮影時

情報 ON
撮影画像と撮影情報が表示されます。

ガイド表示
（モードダイヤルが ((手))、HI ISO、P、S、A、M のときのみ可能）
構図を決めるための格子状のガイドが表示されます。

情報 OFF
撮影画像だけが表示されます。

液晶モニター OFF ※ 1
（モードダイヤルが P、S、A、M のときのみ可能）
液晶モニターが消灯します。

再生時

画像情報 ON
再生画像と画像情報が表示されます。

撮影情報 ON
（動画は除く）
ヒストグラム※ 2 と撮影情報※ 3 が表示されます。

情報 OFF
再生画像だけが表示されます。

※ 1ピントが合わないときはシャッターがきれません。
※ 2 ヒストグラムとは、明るさの分布を表す山状のグラフのことです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
※ 3 ここで表示される撮影情報は、フォルダ名、ファイル名、露出モード P、S、A、M、シャッタースピード、絞り値、露出補正値、ISO 感度です。露出モードは、（カメラ）、((手))、HI ISO、SCENE、P のときには P と表示されます。

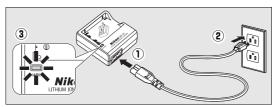
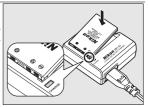
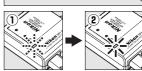
撮影の準備

バッテリーを充電する

ご購入直後や、付属の Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池）の残量が少なくなったときは、付属のバッテリーチャージャーMH-61（充電器）でバッテリーを充電してください。

1 バッテリーチャージャーの電源コードを接続する

- 電源コードの AC プラグを AC プラグ差し込み口に（①）、電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。CHARGE ランプが点灯して、通電中であることをお知らせします（③）。

2 リチャージャブルバッテリーを充電する

- 端子カバーを外して、バッテリーの突起部をバッテリーチャージャーの凹部に合わせてセットします。

- CHARGE ランプが点滅し（①）、充電が始まります。CHARGE ランプが点灯したら（②）、充電完了です。
- 残量がないバッテリーの場合、充電時間は約２時間です。

CHARGE ランプの状態と意味は次のとおりです。

CHARGE ランプ	意味
点滅	バッテリーは充電中です。
点灯	バッテリーの充電が完了しました。
速い点滅	• 使用可能な温度ではありません。室温（5 ℃～ 35 ℃）で充電してお使いください。 • バッテリーの異常です。ただちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。バッテリーおよびバッテリーチャージャーはご購入店やニコンサービスセンターにお持ちください。

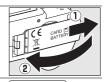
3 充電が完了したら、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、電源プラグをコンセントから抜く

バッテリーチャージャーについてのご注意

- 付属のバッテリーチャージャーは、ニコン Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL5 以外には使用できません。
- バッテリーチャージャーをお使いになるときは、必ず「安全上のご注意」の「警告」、「注意」(v）の注意事項をお守りください。
- バッテリーチャージャーの電源コードは、MH-61 以外の機器に接続しないでください。この電源コードは、日本国内専用（AC100V 対応）です。日本国外でお使いになるには、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。
  また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

バッテリーを入れる

付属のバッテリーチャージャーMH-61 で充電したLi-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 をカメラに入れます。

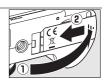
1 バッテリー /SD カードカバーを開ける

2 バッテリーを入れる

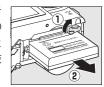
- バッテリー室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。
- バッテリーは、オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押し上げながら差し込んでください。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーが下がり、バッテリーが固定されます。

バッテリーロックレバー

逆挿入注意

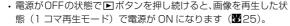
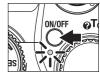
バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー /SD カードカバーを閉じる

バッテリーを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー/SD カードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げると（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐに引き抜いてください（②）。

- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

電源を ON/OFF するには

電源スイッチを押すと、電源ランプ（緑）と液晶モニターが点灯します。電源ランプが点灯しているときに電源スイッチを押すと、電源は OFF になります。

- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、画像を再生した状態（1 コマ再生モード）で電源が ON になります（25）。

バッテリーについてのご注意

- このカメラで使用できるバッテリーは、Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 だけです。その他のバッテリーは**絶対に使用しないでください。**
- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、必ず「安全上のご注意」の「危険」、「警告」（iv ～ v）の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（129）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

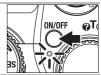
AC 電源について

別売の AC アダプターキット EH-62A を使用すると、家庭用コンセント（AC100V）からカメラへ電源を供給できます。EH-62A 以外の AC アダプターは**絶対に使用しないでください**。カメラの故障、発熱の原因となります。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源を ON にすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。設定するには、マルチセレクターを使います。以下の説明では、各ステップで操作するボタンを白色で示しています。

1 電源スイッチを押して、電源を ON にする

- 電源ランプ（緑）と液晶モニターが点灯します。

2 マルチセレクターで表示言語を選び、Ⓚ ボタンを押す

3 ［はい］を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 日時設定を中止するときは［**いいえ**］を選びます。

4 Ⓚ ボタンを押す

- ［自宅の設定］画面が表示されます。

夏時間を設定するには

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、［ワールドタイム］画面で［**夏時間**］のチェックボックスをオン（✔）にしてから、現在の日時を設定します。

①マルチセレクターの Ⓚ ボタンを押す前に、**下**を押して［**夏時間**］を選ぶ
②Ⓚ ボタンを押して、チェックボックスをオン［✔］にする
　もう一度 Ⓚ ボタンを押すとチェックボックスをオフにできます。
③**上**を押してから Ⓚ ボタンを押し、ステップ 5 に進む

夏時間の期間が終了したときは、［**日時設定**］（114）で［**夏時間**］のチェックボックスをオフにしてください。カメラの時刻が 1 時間戻ります。

5 自宅のあるタイムゾーン（都市名）（143）を選び、OK ボタンを押す

- ［日時設定］画面が表示されます。

6 ［年］を合わせ、OK ボタンを押す

7 ［月］を合わせ、OK ボタンを押す

8 ステップ 6、7 と同様の手順で［日］と分単位まで時刻を合わせて、OK ボタンを押す

- ［**年月日**］が点滅します。

9 ［年月日］の表示順を選び、OK ボタンを押す

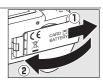
- 設定が有効になり、撮影モードの画面が表示されます。

SD カードを入れる

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 21MB）、または市販の SD カード（124）のどちらかに記録されます。

カメラに SD カードを入れると、SD カードに記録されます。SD カードが入っているときは、SD カードの画像のみ再生、削除、または転送できます。内蔵メモリーを使いたいときは、カードを取り出してください。

1 電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー /SD カードカバーを開ける

- 点灯しているときは、電源スイッチを押して電源を OFF にしてください。
- **SD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。**

2 SD カードを入れる

- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー /SDカードカバーを閉めてください。

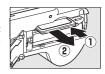
逆挿入注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SD カードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SD カードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや消去が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは、「Lock」を解除してください。

SD カードを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー/SD カードカバーを開けてください。カードを指で軽く奥に押し込んで離すと（①）、カードが押し出されるので（②）、まっすぐに引き抜いてください。

SD カードの初期化

SD カードを入れてカメラの電源を ON にしたときに、下記ステップ 1 の画面が表示された場合は、以下の手順で SD カードを初期化する必要があります。

SD カードを初期化（120）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。

1 マルチセレクターで［**初期化する**］を選んで Ⓞ ボタンを押す

2 確認画面が表示されるので、マルチセレクターで［初期化する］を選んで Ⓞ ボタンを押す

- 初期化が始まります。**初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。**
- 初期化が完了すると、撮影できます。

- 他の機器で使った SD カードをこのカメラで初めて使うときは、必ず初期化（120）してからお使いください。

SD カードの取り扱い上のご注意

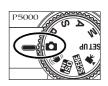
- SD カード以外のメモリーカードはお使いいただけません。
- 初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードの着脱をしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源を OFF にしないでください
  - バッテリー /SD カードカバーを開けないでください
  - AC アダプターを外さないでください
- SD カードはパソコンでフォーマットしないでください
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

簡単な撮影と再生

（オート撮影）モードで撮影する ― カメラまかせの簡単撮影

（オート）撮影モードでは、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的に設定されるので、初めてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

ステップ 1 （オート撮影）モードを選ぶ

モードダイヤルを に合わせる

ステップ 2 電源を ON にする

1 電源スイッチを押す

- 電源ランプと液晶モニターが点灯し、レンズが繰り出します。

2 液晶モニターでバッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量

表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
▭	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数（89）

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしている SD カードのメモリー残量、画質（87）、画像サイズ（88）によって異なります。

（オート撮影）モードでの液晶モニター表示

撮影モード
オート撮影のときには が表示されます。

内蔵メモリー表示
画像は内蔵メモリーに記録されます。SD カードをカメラに入れたときは、 は表示されず、画像は SD カードに記録されます。

画質 / 画像サイズ
撮影目的に応じて画質（画像データの圧縮率）と画像サイズ（画像の大きさ）を選べます。初期設定は［**画質**］が NORM (NORMAL)、［**画像サイズ**］が (3648× 2736) です。

手ブレ補正表示
撮影状況に応じて、手ブレ補正機能を設定できます。初期設定は［**ON**］です。

絞り値（ 47）

シャッタースピード（ 47）

手ブレ補正について

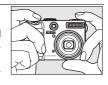
このカメラは撮影時の手ブレの影響を軽減する手ブレ補正機能を搭載しています。［**手ブレ補正**］（118）を［**ON**］（初期設定）にすると、望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時におこりがちな手ブレを効果的に補正できます。

画質と画像サイズについて

（オート撮影）モードで MENU ボタンを押すと、撮影メニューが表示され、［**画質**］（87）と［**画像サイズ**］（88）を設定できます。

ステップ 3 カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- カメラは両手でしっかりと持ってください。レンズや内蔵フラッシュ、AF 補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部を上にしてください。

2 構図を決める

- 写したいもの（被写体）を液晶モニターの中央付近に合わせます。

ファインダーを使って撮影するには

日差しの強い屋外など、明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは、ファインダーを使って撮影してください。

ファインダーについてのご注意

次のような場合は、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲が異なりますので、液晶モニターで構図を確認してください。

- カメラと被写体の距離が近い場合（特に約1m 以内）
- コンバーターレンズ（別売）を使用する場合（104、125）
- 電子ズームを使用する場合（22、119）
- ［**画像サイズ**］が［3:2 3648×2432］または［16:9 3584×2016］のとき

撮影時の節電機能について

カメラを操作しない状態が約 5 秒続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、液晶モニターの表示が暗くなります。カメラを操作すると、元の明るさに戻ります。また、カメラを操作しない状態が約 1 分（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯し、待機状態になります。そのまま約 3 分経過すると、電源が自動的に OFF になります（120）。

ズームを使う

ズームレバーを操作すると、ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

- 広い範囲を写したいときは W 方向に、被写体を大きく写したいときは T 方向にズームレバーを回してください。
- 光学ズームを最も望遠側にして、さらにT方向に回し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（約 3.5 倍）の約 4 倍（合計約 14 倍）まで拡大できます。
- ズームの量は、画面上部で確認できます。

ズームレバーを回すと、画面上部にズームの量が表示されます

光学ズームの最大倍率（約 3.5 倍）

電子ズームが作動すると、表示が黄色に変わります

電子ズームについて

電子ズームは光学ズームとは違い、デジタル処理によって画像を拡大するため、画像の劣化が生じます。画像の劣化が生じるズーム位置では、液晶モニターに 🔲 が表示されます。ただし、［10M 3648×2736］、［3:2 3648×2432］、［16:9 3584×2016］以外の［**画像サイズ**］の場合、約 3.5 倍の光学ズームよりさらに T 方向にズームレバーを回しても、液晶モニターに 🔲 が表示されるまでは、光学ズームと同程度に画像の劣化を抑えて撮影することができます。

撮影時に画像の劣化が生じない最大ズーム倍率は、画像サイズによって異なります。以下の表の最大ズーム倍率より望遠側では 🔲 が表示され、画像の劣化が生じます。

画像サイズ	最大ズーム倍率	画像サイズ	最大ズーム倍率
5M	4.9 倍 (電子ズーム 1.4 倍)	1M	9.8 倍 (電子ズーム 2.8 倍)
3M	5.6 倍 (電子ズーム 1.6 倍)	PC	11.9 倍 (電子ズーム 3.4 倍)
2M	7.7 倍 (電子ズーム 2.2 倍)	TV	14 倍 (電子ズーム 4 倍)

ステップ4 ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1 シャッターボタンを半押しする

- オート撮影モードでは、画面中央のAFエリアに重なっている被写体にピントが合い、露出が決まります。
- ピントが合うと、AF エリア表示が緑色に変わり、緑色のAF 表示（AF ●）が点灯します。ファインダー右横の AF ランプも点灯します。
- AF表示とAFエリアが赤色点滅したり、AFランプが高速点滅した場合は、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度ピントを合わせてください。
- 電子ズーム使用時は AF エリアは表示されません。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

シャッターボタンの半押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレ）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

半押しすると、ピントと露出が固定

そのまま深く押し込んで（全押しして）撮影

画像の記録についてのご注意

画面に ⌛ が表示されているときや、IN または ▯（SD カード使用時）が点滅しているとき、AF ランプが点滅しているときは、画像の記録中です。バッテリー /SD カードカバーを開けないでください。SD カードやバッテリーを取り外すと、画像が記録されなかったり、撮影した画像やカメラ、SD カードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

次のような被写体を撮影するときは、オートフォーカスではピント合わせができないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

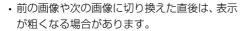
このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、AF ロック撮影（102）をお試しください。

AF 補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押しすると AF 補助光が点灯したり、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュが発光することがあります。

ステップ 5 画像を確認する（1 コマ再生モード）

▶ ボタンを押す

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- マルチセレクターの**左**か**上**を押すと前の画像を、**右**か**下**を押すと次の画像を見ることができます。ボタンを押し続けると、画像を早送りできます。

- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗くなる場合があります。
- 撮影に戻るには、もう一度 ▶ ボタンを押すか、シャッターボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、液晶モニターに IN が点灯します。SD カードをカメラに入れたときは、IN が表示されず、SDカードの画像が再生されます。

画像を削除する

1 削除したい画像を表示させて 🗑 ボタンを押す

2 マルチセレクターで［**はい**］を選び、Ⓚ **ボタンを押す**

- 削除するのをやめるときは、［**いいえ**］を選んで Ⓚ ボタンを押します。

撮影時に画像を削除する

撮影時に 🗑 ボタンを押したときは、直前に撮影した画像の削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、その画像が削除されます。

1 コマ再生モードで使える機能

1 コマ再生モードでは次の機能が使えます。

機能	ボタン	内容	
次の画像を見る / 前の画像を見る		マルチセレクターの**左**か**上**を押すと前の画像を、**右**か**下**を押すと次の画像を表示します。コマンドダイヤルを回しても画像を切り換えられます。	–
			–
画像を拡大する	T（Q）	クイック拡大後、最大約 10 倍までの倍率に拡大します。	54
サムネイル表示に切り換える	W（ ）	4 コマ、9 コマまたは 16 コマのサムネイル画像を表示します。	53
情報を表示 / 非表示にする		液晶モニターに表示される画像情報、撮影情報の表示/非表示を切り換えます。	10
音声メモを録音 / 再生する	OK	最大20秒の音声を録音/再生します。	59
撮影モードに切り換える	▶	▶ ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	–

クイック拡大について

1 コマ再生モードでズームレバーを T（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が約 3 倍に拡大表示されます（54）。OK ボタンを押すと、1 コマ再生モードに戻ります。

画像の再生について

内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SD カードをカメラから取り出してから、再生してください。

▶ ボタンによる電源 ON

電源が OFF の状態で ▶ ボタンを押し続けると、1 コマ再生モードで電源を ON にすることができます。このとき、レンズは繰り出しません。

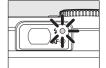
フラッシュを使う

フラッシュモードを撮影状況に合わせて設定することができます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約 0.3 ～ 8m、望遠側で約 0.3 ～ 4m です。

AUTO	自動発光※	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。
	赤目軽減自動発光	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。詳しくは下記をご参照ください。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
	強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。
	リアシンクロ	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

※ 設定直後に AUTO が約 5 秒間だけ表示されます。

- シャッターボタンを半押ししたときに、フラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。

点灯	撮影時にフラッシュが発光します。
点滅	フラッシュ充電中のため、撮影できません。
消灯	フラッシュは発光しません。

赤目軽減自動発光について

このカメラは「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。フラッシュが本発光する前に、少量発光を数回行い赤目現象の発生を軽減します。さらに、カメラが撮影した画像を記録する前に赤目現象を検出したときは、赤目部分に補正を加えてから記録します。

撮影する際には、次の点にご注意ください。

- シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。そのため、シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません。
- 次の撮影ができるまでの時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

フラッシュモードの設定方法

1 ⚡（フラッシュモード）を押す

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターでフラッシュモードを選ぶ

3 Ⓚ ボタンを押して、フラッシュモードを設定する

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- Ⓚ ボタンを押さないまま5秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。
- モードダイヤルが 📷 のときに ⚡AUTO（自動発光）または ⚡◎（赤目軽減自動発光）にして撮影した場合、設定したフラッシュモードは電源をOFF にしても記憶されます。その他のフラッシュモードの場合は記憶されません。
- モードダイヤルが P、S、A、M または高感度モードのときに設定したフラッシュモードは、電源を OFF にしても記憶されます。

⚠ ⊛（発光禁止）にして暗い場所で撮影するときのご注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などでカメラを固定して撮影してください。三脚を使うときは［**手ブレ補正**］（118）を OFF にしてください。
- 液晶モニターに［**ISO**］と表示されることがあります。［**ISO**］と表示されたときは、ISO 感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります（95）。

⚠ フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまうことがあります。このようなときは、フラッシュモードを ⊛（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

AF 補助光について

暗い場所で撮影するとき、シャッターボタンを半押しすると、自動的に AF 補助光が点灯することがあります。AF 補助光が届く距離は、広角側で約 1.8m、望遠側で約 1m です。AF 補助光は点灯しないように設定できます（118）が、ピントが合いにくくなることがあります。

関連ページ

ニコン製別売スピードライト（フラッシュ）について：126

セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、撮影時の手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は 10 秒と 3 秒の 2 種類から選ぶことができます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚を使うときは、[**手ブレ補正**]（118）を［**OFF**］にしてください。

1 (セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［10s］または［3s］を選び、ⓄⓀ ボタンを押す

- ［**10s**］（10 秒）：記念撮影などに適しています。
  ［**3s**］（3 秒）　：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- ⓄⓀ ボタンを押さないまま５秒以上経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、セルフタイマーランプが点滅します。シャッターが切れる約 1 秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターが切れるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

フォーカスモードを使う

撮影目的に合わせて、4 種類のフォーカスモードを選ぶことができます。

AF 通常 AF※	被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。レンズから 30cm 以上（最も望遠側の場合は 70cm 以上）離れた被写体を撮影するときに使用します。
遠景 AF	窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使用します。レンズから 5m 以上離れた遠景にピントを合わせることができます。フラッシュは（発光禁止）になります。
近景 AF	レンズから 2m 以上離れた被写体にピントを合わせることができます。通常 AF よりも速くピントが合います。
マクロ AF	花や虫など小さな被写体の近接撮影に使用します。液晶モニターの マークが緑色で表示される広角側のズーム位置では、レンズ前約 4cm までの被写体にピントを合わせることができます。

※設定後、AF が約 5 秒間点灯してから消灯します。

1 （フォーカスモード）を押す

- 液晶モニターにフォーカスモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターでフォーカスモードを選ぶ

3 OK ボタンを押して、フォーカスモードを設定する

- 設定したフォーカスモードが表示されます。
- OK ボタンを押さないまま5秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。
- モードダイヤルが **P**、**S**、**A**、**M** または高感度モードのときに設定したフォーカスモードは、電源を OFF にしても記憶されます。

マクロ AF について

マクロ AF では、カメラが自動的に AF によるピント合わせを繰り返しますが、シャッターボタンを半押しにするとピントが合い、露出が決まります。

露出を補正する

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。被写体が極端に明るい、あるいは暗い場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合は、適正露出の数値を変えることで、画像全体の明るさを調整できます。露出補正値は－2.0EVから＋2.0EVの範囲で1/3ステップごとに補正できます。

1 （露出補正）を押す

- 液晶モニターに露出補正の設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで露出補正値を選ぶ

- 露出補正の設定中も撮影できます。

3 OKボタンを押して、露出補正を設定する

- 露出補正の設定メニューが消え、液晶モニターにマークと設定した露出補正値が表示されます。
- モードダイヤルがP、S、Aまたは高感度モードのときに設定した露出補正値は、電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正についてのご注意

モードダイヤルがMの場合、露出補正は使用できません。

露出補正について

- 構図の大部分が非常に明るいとき（太陽が反射する水や砂、雪を撮影するときなど）、背景が被写体より明るすぎるときは、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは、露出補正値を「＋」側に設定してください。
- 構図の大部分が非常に暗いとき（暗い緑の森を撮影するときなど）、背景が被写体よりも暗すぎるときは、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは、露出補正値を「－」側に設定してください。

シーンに合わせて撮影する

シーンモードについて

17 種類のシーンモードを選ぶだけの簡単な操作で、シーンに合った撮影や音声レコードが楽しめます。

顔認識 AF	ポートレート	風景	スポーツ
夜景ポートレート	パーティー	海・雪	夕焼け
トワイライト	夜景	クローズアップ	ミュージアム
打ち上げ花火	モノクロコピー	逆光	パノラマアシスト
音声レコード※	画質	画像サイズ	

※「音声レコード機能を使う」（66）をご覧ください。

シーンモードを設定するには

1 モードダイヤルを SCENE に合わせる

- 初期設定では（顔認識 AF）の画面が表示されます。

2 MENU ボタンを押して、シーンメニューを表示させる

3 マルチセレクターでシーンモードを選んで OK ボタンを押す

- シーンモードの変更をキャンセルする場合は MENU ボタンを押します。

4 構図を決めて撮影する

シーンモードの切り換えについて

メニューボタンを押すかわりに、上記のステップ 1 で Fn ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回してシーンモードを切り換えることもできます。

シーンモードの種類と特徴

顔認識 AF

1 人または 2 ～ 3 人の人物を腰から上のポートレート撮影するのに適しています。カメラが人物の顔（正面）を自動的に認識してピントを合わせます。
顔認識AFモードでの撮影方法については 41 をご覧ください。

- 電子ズームは使えません。

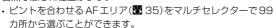
	※		OFF※		AF		0※

※変更可能です。

ポートレート

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

- ピントを合わせるAFエリア(35)をマルチセレクターで99カ所から選ぶことができます。
- 電子ズームは使えません。

	※		OFF※		AF		0※

※変更可能です。

［画質］と［画像サイズ］について

シーンモードのメニュー画面で (画質)を選ぶと、画質（画像データの圧縮率）を設定できます（87)。（画像サイズ）を選ぶと、画像の大きさを設定できます（88)。

表中のマークについて

はフラッシュモード（ 27)、 はセルフタイマー（ 30)、 はフォーカスモード（ 31)、 は露出補正（ 32）を示すマークです。

風景

自然の風景や街並みなどを色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF ランプと AF 表示（23）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 被写体が暗いときでも、AF 補助光は点灯しません。

			OFF※				0※

※変更可能です。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- シャッターモードの半押しでピントが固定されるまで、ピント合わせを繰り返します。
- シャッターボタンを全押ししている間、約0.8コマ/秒で最大8コマまで連写できます（画質が NORMAL、画像サイズが 3648×2736 のとき）。ピントと露出、ホワイトバランスは 1 コマ目を撮影した条件に固定されます。
- 画質や画像サイズ、SD カードの種類により、最大連写速度が遅くなることがあります。
- 画面中央にピントが合います。
- 被写体が暗いときでも、AF 補助光は点灯しません。

			OFF		AF		0※

※変更可能です。

AF エリアについて

- （ポートレート）、（夜景ポートレート）、（クローズアップ）のときは、ピントを合わせたい位置（AF エリア）を画面内の 99 カ所から選ぶことができます。OK ボタンを押すと、AFエリアが表示されます。マルチセレクターの**上下左右**を押して、被写体のある位置に AFエリアを合わせてから OK ボタンを押すと、AFエリアが設定されます。

AF エリアを表示　　AF エリアを選ぶ　　AFエリアが決定する

- AF エリアの選択中に、フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモード、露出補正の設定を変更したいときは、OK ボタンを押していったん AF エリアの選択を解除してから、各モードを設定してください。

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

- ピントを合わせるAFエリア(35)をマルチセレクターで99カ所から選ぶことができます。
- 電子ズームは使えません。

発光	※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	AF	露出補正	0※2

※1 赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※2 変更可能です。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景をいかして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央にピントが合います。
- 手ブレしやすいため、[**手ブレ補正**]（118）の設定を確認し、カメラをしっかりと持ってください。

発光	※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	AF	露出補正	0※2

※1 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更可能です。
※2 変更可能です。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。

発光	AUTO※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	AF	露出補正	0※

※変更可能です。

と マークについて

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚を使うときは、[**手ブレ補正**]（118）をOFFにしてください。

NR：NRがついたシーンモードでは、自動的にノイズ低減が行われるため、画像の記録時間が通常より長くなります。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- 画面中央にピントが合います。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	※		OFF※		AF		0※

※変更可能です。

トワイライト（夜明け直前、日没直後）

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF ランプと AF 表示（23）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 被写体が暗いときでも、AF 補助光は点灯しません。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
			OFF※				0※

※変更可能です。

夜景

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF ランプと AF 表示（23）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 被写体が暗いときでも、AF 補助光は点灯しません。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
			OFF※				0※

※変更可能です。

クローズアップ（接写）

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マークが緑色で表示されているズーム位置では、レンズ前約4 cmまでの被写体にピントを合わせられます。
- ズーム位置により最短撮影距離は変化します。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、ピント合わせを繰り返します。
- ピントを合わせるAFエリア(35)をマルチセレクターで99カ所から選ぶことができます。
- 手ブレしやすいため、[**手ブレ補正**]（118）の設定を確認し、カメラをしっかりと持ってください。

	AUTO※		OFF※				0※

※変更可能です。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- ［**BSS**］（99）が自動的に［**ON**］になります。
- 画面中央にピントが合います。
- 美術館、博物館などによっては撮影そのものが禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 被写体が暗いときでも、AF補助光は点灯しません。
- 手ブレしやすいため、[**手ブレ補正**]（118）の設定を確認し、カメラをしっかりと持ってください。

			OFF※1		AF※2		0※1

※1 変更可能です。

※2 （マクロAF）に変更可能です。

打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。
- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF ランプと AF 表示 (23) が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 被写体が暗いときでも、AF 補助光は点灯しません。

			OFF				0

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字をシャープに撮影したいときに使います。
- 画面中央にピントが合います。
- 近くのものを撮影するときは、フォーカスモード（31）の［ **マクロ AF**］を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、薄くなることがあります。

	※1		OFF ※1		AF ※2		0 ※1

※ 1 変更可能です。
※ 2 （マクロ AF）に変更可能です。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならず美しく撮影できます。
- 画面中央にピントが合います。

			OFF ※		AF		0 ※

※変更可能です。

パノラマアシスト

撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア PictureProject を使って、パソコンでパノラマ写真に合成できます。パノラマアシストモードでの撮影方法については 42 をご覧ください。

• 画面中央にピントが合います。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ		露出補正	
	※		OFF※		AF※		0※

※変更可能です。

[顔認識 AF] モード（34）を使った撮影方法

1 シーンメニュー（33）で （顔認識 AF）を選んで ボタンを押す

- 黄色の マークが点滅表示されます。

2 マークの大きさを目安に、人物の顔をとらえる

- カメラが顔を認識すると、 マークが黄色の二重枠に変わります。
- 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。ピントと露出は、二重枠で囲まれた人の顔に合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失うと、枠が消えてステップ 1 の状態に戻ります。

3 シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。

4 そのままシャッターボタンを全押しして撮影する

顔認識 AF モードについてのご注意

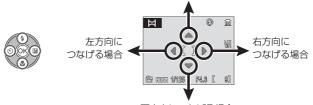
- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- カメラは人物の顔を認識するまでピント合わせを繰り返します。
- 二重枠が黄色点滅しているときは、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - 人物が横を向いている。
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。
- 電子ズームは使えません。

⧖［パノラマアシスト］（📷 40）を使った撮影方法

画面中央にピントが合います。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。

1 シーンメニュー（📷33）で ⧖（パノラマアシスト）を選び、Ⓚ ボタンを押す

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す ▷ マークが黄色で表示されます。

2 マルチセレクターで画像をつなげる方向を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 画像をつなげる方向（黄色の三角印）を選びます。
- 選んだ方向に ▷ マークが移動し、Ⓚ ボタンを押すと、白色に変わります。
- フラッシュモード（📷 27）、セルフタイマー（📷 30）、フォーカスモード（📷 31）、露出補正（📷 32）を設定したいときは、ここで設定してください。
- もう一度 Ⓚ ボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1 コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約 1/3 の領域に半透明で表示されます。

4 2 コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返し、必要な画像を撮影してください。

5 必要な画像を撮影し終わったら、OK ボタンを押す

- ステップ2の状態に戻ります。

パノラマアシストモードについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモード、露出補正は、撮影開始前に設定してください。撮影開始後に設定を変えることはできません。撮影開始後は、画質（87)、画像サイズ（88）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 三脚を使用すると、組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。
- 撮影中にオートパワーオフ（ 120）による待機状態になると、撮影が終了してしまうので、待機状態に入るまでの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE-L（露出固定）表示について

パノラマアシストモードでは、1 コマ目を撮影すると、画面に AE-L（白色）と表示されます。これは、露出とホワイトバランスがロック (固定) されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像を、同じ露出とホワイトバランスで撮影できます。

関連ページ

パノラマアシストで撮影した画像のファイル名とフォルダ名：142

ブレ軽減モードで撮影する

ブレ軽減モードでは、[**手ブレ補正**](118)と[**BSS**](99)が自動的に[**ON**]になります。さらに、被写体の明るさに応じて ISO 感度が 1600 まで自動的に上がるため、同じ明るさの被写体でも (オート撮影)モードよりシャッタースピードが速くなり、手ブレや被写体ブレの軽減に効果があります。フラッシュが発光禁止に設定されるので、自然光を活かしながらズームを望遠側にして被写体の自然な表情をとらえるのに適しています。動物を撮影する場合など、被写体に近づけないときや、被写体にカメラを意識させずに離れた場所から撮影したいときなどに便利です。

1 モードダイヤルを に合わせる

2 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- ピントは画面中央に合います。
- シャッターボタンを全押ししている間、最大 10 コマを連写し、最も鮮明な 1 コマをカメラが自動的に選んで記録します。

ブレ軽減モードのご注意

- 被写体が暗いとき、シャッタースピードは一定値に制限されます。
- 薄暗い場所で撮影するときは、高感度モード(45)を使用することをおすすめします。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。
- [**デート写し込み**](116)を設定していても、日時は写し込まれません。

ブレ軽減モードでの機能設定

[**手ブレ補正**](118)と[**BSS**](99)が自動的に[**ON**]になり、フラッシュは発光禁止に設定されます。また、フォーカスモードと露出補正は設定できますが、セルフタイマーは使えません。

[画質]と[画像サイズ]について

(ブレ軽減)モードで MENU ボタンを押すと、ブレ軽減メニューが表示され、[**画質**](87)と[**画像サイズ**](88)を設定できます。

高感度モードで撮影する

高感度モードでは ISO 感度が高めに設定されるため、薄暗いシーンでも手ブレや被写体ブレの影響を軽減し、その場の雰囲気を活かした撮影ができます。被写体の明るさに応じて ISO 感度が 1600 まで自動的に設定されます。

1 モードダイヤルを 🅗 に合わせる

2 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合い、露出が決まります（🔗 101）。

✔ 高感度モードのご注意

- 薄暗い画面でも手ブレや被写体ブレが軽減されますが、フラッシュを使わないときは、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。三脚を使うときは、［**手ブレ補正**］（🔗118）を［**OFF**］にしてください。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。
- 極端に暗い場面では、ピントが合いにくくなることがあります。

高感度モードとブレ軽減モードについて

高感度モードとブレ軽減モード（🔗 44）は、どちらも手ブレや被写体ブレの影響を軽減しますが、薄暗いシーンでは高感度モードが効果的です。フラッシュを発光禁止にすると、撮影するシーンによってはその場の雰囲気をさらに活かせます。
高感度モードで MENU ボタンを押すと、高感度メニューが表示され、［**ISO 感度設定**］以外の撮影メニュー項目を設定できます（🔗 85）。また、フラッシュ、セルフタイマー、マクロモード、および露出補正も設定できます。

露出モードで撮影する

COOLPIX P5000 では、モードダイヤルを切り換えることにより、**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）、**M**（マニュアル露出）の４種類の露出モードを使うことができます。

露出モード **P**、**S**、**A**、**M** では、シャッタースピードや絞りを自分で設定できるほか、ホワイトバランスなどを変更して、さらに高度な撮影を楽しむことができます。

露出モード	内　容	こんなときに
P **プログラムオート**（48）	シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動的にセットします。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフト（48）もできます。	ほとんどの撮影状況に適しています。
S **シャッター優先オート**（49）	設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値をセットします。	動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調したりするときなどに使います。
A **絞り優先オート**（50）	設定した絞り値に合わせて、カメラが自動的にシャッタースピードをセットします。	手前から奥まで鮮明に写したり、背景の描写をやわらげたいときなどに使います。
M **マニュアル露出**（51）	シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由に設定できます。	撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたいときに使います。

露出について

シャッタースピードと絞り値を調整して、画像が意図した明るさ（露出）で撮影されるようにすることを「露出を合わせる」といいます。同じ露出の画像でも、シャッタースピードと絞りの組み合わせによって、撮影される画像の流動感や背景のぼかし具合などが変わってきます。

速いシャッタースピードのとき
1/1000 秒

遅いシャッタースピードのとき
1/30 秒

絞りを絞り込んだとき
（絞り値が大きいとき）
F7.6

絞りを開いたとき
（絞り値が小さいとき）
F2.7

P（プログラムオート）での撮影方法

1 モードダイヤルを P に合わせる

2 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合い、露出が決まります（101）。

プログラムシフトについて

P（プログラムオート）で撮影中にコマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組合せを変えることができます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフト中は、液晶モニター左上の P 表示の横にプログラムシフトマーク（*）が表示されます。

- 背景をぼかしたい（絞り値を小さく設定したい）場合や、動きの速い被写体を撮影したい（速いシャッタースピードを設定したい）場合には、コマンドダイヤルを右に回してください。
- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい（絞り値を大きく設定したい）場合や被写体の動きを強調したい（遅いシャッタースピードを設定したい）場合には、コマンドダイヤルを左に回してください。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク（*）が消えるまでコマンドダイヤルを回してください。モードダイヤルを切り換えたときや、電源を OFF にしたときも、プログラムシフトは解除されます。

S（シャッター優先オート）での撮影方法

1 モードダイヤルを S に合わせる

2 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピード（1/2000 ～ 8 秒）を設定する

3 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合い、露出が決まります（ 101）。

- **被写体が暗すぎたり明るすぎたりして、設定したシャッタースピードがカメラの制御範囲を超えている場合：**
  シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターのシャッタースピード表示が点滅します。この場合は適正な露出が得られませんので、設定したシャッタースピードを変えてください。
- **1/4 秒以下の低速シャッタースピードに設定する場合：**
  撮影画像に星状のノイズが出ることがあるため、液晶モニターのシャッタースピード表示が赤く点灯して警告します。この場合は、撮影メニューの［**ノイズ低減**］（ 104）を［**ON**］に設定することをおすすめします。

シャッタースピード 1/2000 秒について

シャッタースピード 1/2000 秒は、ズームの最も広角側でのみ設定できます。

A（絞り優先オート）での撮影方法

1 モードダイヤルを A に合わせる

2 コマンドダイヤルを回して、絞り値（開放絞り～最小絞り）を設定する

- 絞り値は、ズームの最も広角側ではF2.7～7.6、最も望遠側では F5.3 ～ 7.3 の範囲で設定できます。

3 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合い、露出が決まります（☞ 101）。

- **被写体が暗すぎたり明るすぎたりして、設定した絞り値がカメラの制御範囲を超えている場合：**

  シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターの絞り値表示が点滅します。この場合は適正な露出が得られませんので、設定した絞り値を変えてください。

絞りとズームについて

絞り値（F 値）とはレンズの明るさを示す値で、レンズの焦点距離を有効口径（レンズの中にある絞りとそこを通る光の関係を数値化したもの）で割った数値のことをいいます。この数値が小さくなるに従って明るくなり、大きくなるに従って暗くなります。また、そのレンズの絞りの一番小さい数値を開放絞り値といい、一番大きい数値を最小絞り値といいます。このカメラのレンズ（7.5-26.3mm F2.7-5.3）はズーミングによって絞り値が変化します。望遠側にズームすると絞り値が大きくなり、広角側にズームすると絞り値が小さくなります。露出モードが A または M のとき、撮影メニューの［**ズーム時 F 値保持**］（☞ 103）を［**ON**］に設定することにより、この絞り値の変化を最小限に抑えることができます（制御できる絞り値の範囲は F5.1 ～ F7.3 です）。

M（マニュアル露出）での撮影方法

1 モードダイヤルを M に合わせる

2 マルチセレクターの右を押して、シャッタースピードを選ぶ

- マルチセレクターの右を押すごとに、シャッタースピードと絞り値が交互に切り換わります。
- 1/4秒以下の低速シャッタースピードの場合は、液晶モニターのシャッタースピード表示が赤く点灯します（49）。

3 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピード（1/2000 ～ 8 秒）を設定する

- 設定したシャッタースピードと絞り値の組合せによる露出値と、カメラが測定した適正露出値の差が液晶モニターの露出インジケーターに数秒間表示されます。

設定された露出値とカメラの測光した適正露出値の差は、露出インジケーターにー 2EVから＋2EV の範囲で 1/3 段ごとに表示されます。図は露出が 1 段アンダーのときの例です。

←アンダー露出　オーバー露出→

－2　±0　+2

－1　+1

露出インジケーター

4 もう一度マルチセレクターの右を押して、絞り値を選ぶ

シャッタースピード 1/2000 秒について

シャッタースピード 1/2000 秒は、ズームの最も広角側で絞り値が F7.6 のときのみ設定できます。

5 コマンドダイヤルを回して、絞り値を設定する

- 必要に応じて、ステップ 2 ～ 5 を繰り返してシャッタースピードと絞り値を調整します。

6 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合い、露出が決まります（🔍 101）。

再生機能を使いこなす

複数の画像を一覧表示する－サムネイル表示モード

1 コマ再生モード（25）でズームレバーを W（）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示モード」になります。

サムネイル表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	
画像を選ぶ		–
表示コマ数を変更する（4 → 9 → 16 コマ）	ズームレバーを W（）方向に回す	–
表示コマ数を変更する（16 → 9 → 4 → 1 コマ）	ズームレバーを T（）方向に回す	–
選択中の画像を削除する	ボタン	25
画面をスクロール（移動）する		–
1 コマ再生モードに切り換える	ボタン	25
撮影モードに切り換える	ボタン	–

4 コマ /9 コマサムネイルに表示されるマーク

プロテクト設定した画像（109）や、転送マークを付けた画像（109）には、右のようにマークが表示されます。動画（65）は映画フィルムの 1 コマのように表示されます。プロテクト設定と転送マークは、16 コマサムネイルには表示されません。

画像を拡大表示する

1コマ再生モード（25）でズームレバーを **T**（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が約 3 倍の大きさに拡大表示されるクイック拡大モードになります。
画面右下のガイドは、どの部分が表示されているかを示しています。マルチセレクターの上下左右を押して表示される部分を切り換えられます。**MENU** ボタンを押すと、トリミング（57）が行えます。

クイック拡大モードでさらにズームレバーを操作すると、拡大倍率を自由に変更できる「拡大表示モード」になります。拡大率は画面に表示され、最大約 10 倍まで拡大できます。倍率が 1 倍になると、1 コマ再生モード（25）に戻ります。

拡大表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	
拡大倍率を上げる	ズームレバーを **T**（Q）方向に回す	–
拡大倍率を下げる	ズームレバーを **W**（）方向に回す	–
拡大倍率を変える		–
画面をスクロール（移動）させる	OK	–
1 コマ再生モードに切り換える	OK ボタン	25
画像の一部を切り抜く（トリミング）	**MENU** ボタン	57
撮影モードに切り換える	▶ ボタン	–

画像を編集する

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別の画像として、異なるファイル名で保存されます（142）。

編集の種類	内容	使用目的
D- ライティング	画像の暗い部分を明るく補正する	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正したいとき
トリミング	画像の一部を切り出す	被写体をクローズアップしたいとき、構図に手を加えたいときなど
スモールピクチャー	小さいサイズの画像を作成する	メールに添付して送信する場合など、画像のサイズを小さくしたいとき

画像編集を適用する際のご注意

- ［**画像サイズ**］を［**3:2 3648×2432**］または［**16:9 3584×2016**］にして撮影した画像は、編集できません。
- COOLPIX P5000 以外で撮影した画像は、COOLPIX P5000 で再生、編集できないことがあります。
- COOLPIX P5000 以外のデジタルカメラでは、COOLPIX P5000 で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SD カードに充分な空き容量がない場合、編集できません。

画像編集の制限

	2 回目の編集		
1 回目の編集	D- ライティング	トリミング	スモールピクチャー
D- ライティング	×	○	○
トリミング	×	×	×
スモールピクチャー	×	×	×

- 同じ画像編集を 2 回行うことはできません。
- D-ライティングとトリミングまたはスモールピクチャーを組み合わせて編集するときは、D-ライティングを先に行ってください。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ［**プリント指定**］（83）を行ったり、［**プロテクト設定**］（109）された画像を編集しても、これらの設定内容は編集先の画像には反映されません。ただし、［**転送マーク設定**］（109）が ON の画像を編集したときは、編集先の画像にも設定が反映され［**転送マーク設定**］が ON になります。

画像の暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。D- ライティングで補正した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1 コマ再生モード（25）またはサムネイル表示モード（53）で画像を選び、MENU ボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ［D- ライティング］を選んで ㊍ ボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

3 マルチセレクターで［実行］を選び、㊍ ボタンを押す

- 補正画像が作成されます。
- D- ライティングを中止するときは、［**キャンセル**］を選び、㊍ ボタンを押します。
- D-ライティングを行った画像は、再生画面で が表示されます。

D- ライティング前

D- ライティング後

関連ページ

D- ライティング画像のファイル名：142

画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大表示（54）中に MENU:✂ マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけをトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元の画像とは別の画像（圧縮率約 1/8）として保存されます。

1 1 コマ撮影モードでズームレバーを T（Q）方向に回して、画像を拡大表示する

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを使って拡大率を調節します。
- マルチセレクターの**上下左右**を押して表示範囲を調整します。

3 MENU ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

4 マルチセレクターで［はい］を選び、⊛ ボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。

- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選びます（単位：ピクセル）。
  - 5M 2592×1944
  - 4M 2272×1704
  - 3M 2048×1536
  - 2M 1600×1200
  - 1M 1280×960
  - PC 1024×768
  - TV 640×480
  - 320×240
  - 160×120
- トリミングで作成された画像の画像サイズが 320×240または160×120のとき、グレーの枠で囲まれて表示されます。

関連ページ

トリミング画像のファイル名：142

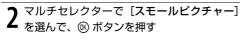
サイズの小さい画像を作成する（スモールピクチャー）

撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の 3 種類から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約 1/16）として保存されます。

種類		内容
	640×480	テレビでの表示に適しています。
	320×240	ホームページでの使用に適しています。
	160×120	電子メールへの添付に適しています。

1 1 コマ再生モード（☞25）またはサムネイル表示モード（☞53）で画像を選び、MENU ボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［スモールピクチャー］を選んで、Ⓚ ボタンを押す

3 スモールピクチャーのサイズを選び、Ⓚ ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。
- 作成をやめるときは、MENU ボタンを押します。

4 ［はい］を選び、Ⓚ ボタンを押す

- スモールピクチャーが作成されます。

- スモールピクチャーで作成された画像は、グレーの枠で囲まれて表示されます。

関連ページ

スモールピクチャーのファイル名：☞142

画像に音声メモを付ける

1コマ再生モード（25）で マーク（音声メモ録音ガイド）が表示されている画像に、カメラのマイク（4）を使って、音声によるメモが付けられます。

音声メモを録音するには

ボタンを押している間、約 20 秒までの音声メモを録音できます。ボタンから指を離すか、約 20 秒経過すると、録音が終わります。

- 録音中は、カメラのマイクに触れないようにご注意ください。
- 録音中は と が点滅します。

録音した音声メモを再生するには

1 コマ再生モードで、マーク（音声メモ表示）と マーク（音声メモ再生ガイド）が表示されている画像を選び、ボタンを押すと、音声メモが再生されます。再生が終わるか、もう一度 ボタンを押すと、再生が終了します。

- 再生中、ズームレバーで音量を調整できます。ズームレバーを **T** 側に回すと音量が大きくなり、**W** 側に回すと小さくなります。

音声メモを削除するには

音声メモ付き画像を選んで ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。

- を選んで ボタンを押すと、音声メモだけが削除されます。
- ［**はい**］を選んで ボタンを押すと、画像と音声メモが削除されます。

音声メモについてのご注意

- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。この場合、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX P5000 以外のカメラで撮影した画像に対して、COOLPIX P5000 で音声メモを録音することはできません。また、COOLPIX P5000 以外のカメラで録音した音声メモを、COOLPIX P5000 で再生することはできません。
- 動画（ 65）には音声メモを付けることができません。

関連ページ

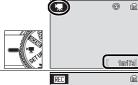
音声メモのファイル名：142

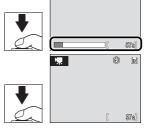
動画を撮影する / 再生する

動画を撮影する

動画（音声付き※）を撮影できます。 ※ 微速度撮影を除く

1 モードダイヤルを 動画 に合わせる

- 液晶モニターに、記録できる時間が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

- ピントは画面中央にある被写体に合います。
- 液晶モニターで記録できる残り時間の目安を確認できます。
- もう一度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。
- 内蔵メモリーまたはSDカードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- フラッシュモード（27）は微速度撮影のみで使えます。すべての動画モードでセルフタイマーは使えません。
- 動画撮影中、フォーカスモード（31）と露出補正（32）は、変更することはできません。動画を撮影前に変更してください。
- 動画撮影中、電子ズームは 2 倍まで作動しますが、光学ズームは使えません。光学ズームを使いたい場合は、撮影前に操作してください。
- 記録可能な最大ファイルサイズは 2GB です。

動画メニュー

動画モードで MENU ボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

メニュー項目	内容	📖
動画設定	撮影する動画の種類を設定します。	61
AF-MODE	動画撮影時のピント合わせについて設定します。	62

動画設定

撮影する動画の種類を選びます。

TV 再生 640★	動画を画像サイズ 640×480 ピクセル、30 フレーム / 秒で撮影します。
TV 再生 640	動画を画像サイズ 640×480 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。
カメラ再生 320（初期設定）	動画を画像サイズ 320×240 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。
長時間再生 160	動画を画像サイズ 160×120 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能となります。
微速度撮影 640★（📖63）	自動的に一定間隔で静止画（画像サイズ 640×480 ピクセル）を自動的に連続撮影してから、その静止画をつなげて動画として記録します。音声は記録されません。再生するときは 30 フレーム / 秒で再生されます。
セピア動画 320	画像サイズ 320×240 ピクセルのセピア調の動画を 15 フレーム / 秒で撮影します。
白黒動画 320	画像サイズ 320×240 ピクセルの白黒の動画を 15 フレーム / 秒で撮影します。

動画モードの切り換えについて

MENU ボタンを押すかわりに撮影画面で Fn ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して、動画の種類を切り換えることもできます。

記録可能時間 / フレーム数

	内蔵メモリー（約 21MB）	SD カード（256MB）
TV 再生 640★	19 秒	約 3 分 40 秒
TV 再生 640	39 秒	約 7 分 20 秒
カメラ再生 320（初期設定）	1 分 17 秒	約 14 分 30 秒
長時間再生 160	4 分 16 秒	約 48 分
微速度撮影 640★（63）	233 フレーム	1800 フレーム
セピア動画 320	1 分 17 秒	約 14 分 30 秒
白黒動画 320	1 分 17 秒	約 14 分 30 秒

- 数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。
- このカメラで記録できる動画の最大容量は 2GB です。4GB の SD カードを使用すると、最大 2GB までの記録可能時間が表示されます。

AF-MODE

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

シングル AF（初期設定）	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントを固定（AF ロック）します。撮影中はそのピントで固定されます。
常時 AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングル AF**］に設定して撮影することをおすすめします。

関連ページ

動画メニューの初期設定： 140
動画のファイル名とフォルダ名： 142

微速度撮影をする

花のつぼみが開く様子を早送りで観察したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターで動画メニューから［動画設定］を選び、㊞ ボタンを押す

2 ［微速度撮影 640★］を選び、㊞ ボタンを押す

3 撮影間隔を選び、㊞ ボタンを押す

- ［30 秒］、［1 分］、［5 分］、［10 分］、［30 分］、［60 分］から選べます。

4 MENU ボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。

5 シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

- 撮影の合間は液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。
- 次の撮影時間になると、自動的に液晶モニターが点灯します。

6 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

- 内蔵メモリー /SD カードの残量がなくなったとき、または撮影フレーム数が 1800 フレームに達すると、撮影が自動的に終了します。1800 フレーム撮影した場合は、再生時間 60 秒の動画になります。

微速度撮影についてのご注意

- フラッシュモード（27）、フォーカスモード（31）、露出補正（32）は、1 フレーム目を撮影する前に設定してください。2 フレーム目以降はすべて同じ設定で撮影されます。撮影開始後に設定の変更はできません。
- 途中でバッテリーが切れることがないように、充分に充電したバッテリーをお使いください。別売の AC アダプターキット EH-62A を使用すると、家庭用コンセント（AC100V）から COOLPIX P5000 へ電源を供給できます。EH-62A 以外の AC アダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- 微速度撮影中は、モードダイヤルを回さないでください。

動画を再生する

1 コマ再生モード（👁25）で 🎥 マークが表示されている画像が動画です。Ⓚボタンを押すと、再生できます。

動画再生中

動画の再生中は、ズームレバーで音量を調整します。T（Q）側に回すと音量が大きくなり、W（▦）側に回すと小さくなります。
コマンドダイヤルを回すと、早送り / 巻き戻しできます。

画面上部には操作パネルが表示されます。マルチセレクターの**左右**を押して操作ボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

一時停止時

音量表示

機能	ボタン		内容
巻き戻し	◀◀		Ⓚ ボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶▶		Ⓚ ボタンを押している間、早送りします。
一時停止	II		Ⓚ ボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中にマルチセレクターでコマ送り / コマ戻しができます。 また、画面上部の操作ボタンで、以下の操作ができます。
		◀II	Ⓚ ボタンを押すと、1 コマ戻ります。 押し続けると、連続してコマ戻しされます。
		II▶	Ⓚ ボタンを押すと、1 コマ進みます。 押し続けると、連続してコマ送りされます。
		▶	Ⓚ ボタンを押すと、再生を再開します。
		■	Ⓚ ボタンを押すと、1 コマ再生モードに戻ります。
再生終了	■		Ⓚ ボタンを押すと、1 コマ再生モードに戻ります。

動画ファイルを削除する

動画再生中や、1 コマ再生モード（👁25）、サムネイル表示モード（👁53）で動画を選んで 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、動画ファイルが削除されます。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選んで Ⓚ ボタンを押します。

音声レコード機能を使う

ボイスレコーダーのように、内蔵メモリーや SD カードに音声を記録します。

音声を録音する

1 モードダイヤルを SCENE に合わせる

2 MENU ボタンを押して、シーンメニューを表示する

3 マルチセレクターで 🎙（音声レコード）を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 録音可能画面が表示されます。

4 シャッターボタンを全押しして、録音を始める

- 録音中は AF ランプが点灯します。
- 録音開始から約 30 秒後に節電機能が働き、液晶モニターが消灯します。
- 録音中の操作方法については、次ページをご覧ください。

5 シャッターボタンを全押しして、録音を終える

- 内蔵メモリー /SD カードの残量が無くなったときや、録音開始から 5 時間経過したときは、自動的に録音が終了します。

関連ページ

録音した音声データのファイル名とフォルダ名：🔍142

音声録音中の操作

録音中は、次のような画面が表示されます。液晶モニターが消灯しているときは ▶ ボタンを押すと点灯します。

録音中には、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容
録音を一時停止 / 再開する	OK	一時停止中は、AF ランプが点滅します。
インデックスを付ける	マルチセレクター	再生時に目的の場所が見つけやすいように、インデックス（しおり）を付けます。録音開始時のインデックスが 1 で、その後マルチセレクターの**上下左右**を押すたびに、98 個までのインデックスを付けられます。
録音を終える	シャッターボタン	録音中にもう一度シャッターボタンを全押しすると、録音が終了します。

☑ 音声データについてのご注意

音声レコード機能で録音した音声データを、PictureProject でパソコンに転送することはできません。音声データをパソコンに転送するには、セットアップメニューの［**インターフェース**］→［**USB**］を［**Mass Storage**］にしてからパソコンと接続（72 ～ 76）し、パソコン側から操作して音声データをコピーしてください。

パソコンにコピーした音声データは、QuickTime などのソフトウェアで再生できます。パソコンで再生すると、カメラで付けたインデックスは機能しません。

音声を再生する

1 ［音声レコード］画面（📖 66 のステップ 3）で ▶ ボタンを押す

- ［音声データ選択］画面が表示されます。

2 マルチセレクターで再生したいデータを選び、Ⓚ ボタンを押す

3 音声データが再生される

音声データ再生中の操作

再生中は、次のような画面が表示されます。

音声の再生中は、ズームレバーで音量（4 段階）を調整します。ズームレバーを **T**（🔍）方向に回すと音量が大きくなり、**W**（▦）方向に回すと音量が小さくなります。

コマンドダイヤルを回すと、早送り / 巻き戻しできます。

画面上部には、操作パネルが表示されます。マルチセレクターの**左右**を押して操作ボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容
巻き戻し	⏪	OK ボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	⏩	OK ボタンを押している間、早送りします。
前のインデックスへ	⏮	OK ボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。
次のインデックスへ	⏭	OK ボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
一時停止	⏸	OK ボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中には、以下の操作ができます。 ▶ OK ボタンを押すと、再生を再開します。 ■ OKボタンを押すと、音声データ選択画面に戻ります。 ⏪ OK ボタンを押している間、巻き戻します。 ⏩ OK ボタンを押している間、早送りします。 ⏮ OK ボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。 ⏭ OK ボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
再生終了	■	OK ボタンを押すと、音声データ選択画面に戻ります。

音声データを削除するには

音声の再生中に 🗑 ボタンを押すか、一覧表示中にマルチセレクターで削除したい音声データを選んで 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んで OK ボタンを押すと、音声データが削除されます。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選んで OK ボタンを押します。

音声データをコピーする

内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、音声データをコピーすることができます。この機能は、カメラに SD カードが入っていないと、使うことができません。

1 ［音声データ選択］画面（68 のステップ 1）で、MENU ボタンを押す

2 マルチセレクターでコピーの方向を選び、Ⓚ ボタンを押す

IN→SD：内蔵メモリーから SD カードへコピー
SD→IN：SD カードから内蔵メモリーへコピー

3 コピーの方法を選び、Ⓚ ボタンを押す

［**選択データコピー**］→ ステップ 4 へ
［**全データコピー**］→ ステップ 5 へ

4 コピーするデータを選ぶ

- マルチセレクターの**右**を押してデータの選択（チェックマークあり）/ 選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
- 複数のデータが選べます。

5 Ⓚ ボタンを押す

- コピーを確認する画面が表示されます。

6 ［はい］を選んで Ⓚ ボタンを押す

- 音声データがコピーされます。

音声データコピーについてのご注意

他社製のカメラで録音した音声データに対しては、音声データコピー機能の動作は保証しておりません。

［音声データがありません］のメッセージについて

SD カードに音声データが記録されていないときに ▶ を押すと（68 のステップ 1）、［音声データがありません］と表示されます。内蔵メモリーに記録されている音声データを SD カードにコピーしたいときは、MENU ボタンを押すと［音声データコピー］画面が表示され、音声データをコピーできます。

テレビやパソコン、プリンターに接続する

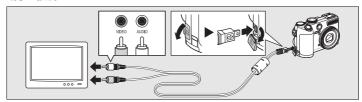
テレビに接続する

カメラを付属のオーディオビデオケーブル（AV ケーブル）EG-CP14 でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源を OFF にする

2 付属の AV ケーブルで、カメラとテレビを接続する

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの ▶ ボタンを押し続けて、電源を ON にする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

電源についてのご注意

テレビやパソコン、プリンターなどと接続するときは、途中でバッテリーが切れないように、充分に残量のあるバッテリーまたは別売の AC アダプターキット EH-62A をお使いください。

ケーブル接続時のご注意

ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

画像がテレビに映らないとき

セットアップメニュー（112）の［**インターフェース**］（121）→［**ビデオ出力**］がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属の　USB　ケーブルでカメラをパソコンに接続すると、ソフトウェア PictureProject を使って、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

PictureProject をインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のソフトウェア PictureProject（CD-ROM）をパソコンにインストールします。PictureProject のインストール方法については、簡単操作ガイドまたは PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご覧ください。

USB 通信方式を確認する

カメラからパソコンへ画像を転送するには、2 つの方法があります。

- パソコン上の PictureProject を操作して転送する
- カメラの Ⓚ（転送 ）ボタンを押して転送マーク付き画像を転送する

お使いのパソコンの OS（オペレーティングシステム）および、カメラとパソコンの USB 通信方式の組み合わせによって、転送できる方法が次のように異なります。

OS ※1	USB 通信方式※2	
	カメラの Ⓚ ボタンで転送する※3	PictureProject の［転送］ボタンで転送する
32bit 版の Windows Vista (Home Basic/Home Premium/ Business/Enterprise/Ultimate)	［Mass Storage］	［MTP/PTP］または［Mass Storage］
Windows XP (Home Edition/Professional)	［MTP/PTP］または［Mass Storage］	
Windows 2000 Professional ※4	［Mass Storage］	
Mac OS X （Version 10.3.9、10.4）	［MTP/PTP］	［MTP/PTP］または［Mass Storage］

※1　対応 OS に関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。
※2　このカメラの USB 通信方式には、［MTP/PTP］（初期設定）と［Mass Storage］があります。
※3　次の場合、カメラの Ⓚ（転送 ）ボタンは使用できません。PictureProject の［**転送**］ボタンで転送してください。
- ［USB］の設定が［Mass Storage］になっているときに内蔵メモリーの画像を転送する場合
- SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」の位置になっているとき（「Lock」を解除するとカメラの Ⓚ（転送 ）ボタンを使用できます。）

※4　パソコンの OS が Windows 2000 Professional の場合は、カメラの USB 通信方式を必ず［Mass Storage］に設定してください。USB 通信方式を［MTP/PTP］にして接続すると、パソコンに［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］と表示されます。［**キャンセル**（中止)］を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

USB 通信方式の設定方法

USB 通信方式は、パソコンやプリンターと接続する前にカメラのセットアップメニュー（112）で設定します。

1 モードダイヤルを SETUP に合わせる

- セットアップメニューが表示されます。

2 ［インターフェース］を選び、OK ボタンを押す

3 ［USB］を選び、OK ボタンを押す

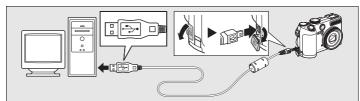
4 ［MTP/PTP］または［Mass Storage］を選び、OK ボタンを押す

- 設定が有効になります。
- セットアップメニューを終了するには、モードダイヤルを他のモードに合わせてください。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 PictureProject がインストールされているパソコンを起動する

2 カメラの電源を OFF にする

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続する

4 カメラの電源を ON にする

パソコンで［**PictureProject Transfer**］が起動します（PictureProject の初期設定）。

5 画像を転送する

- **PictureProject を操作して転送する方法：**
  パソコンを操作して、PictureProject Transfer の［**転送**］ボタンをクリックします。
  記録されているすべての画像がパソコンに転送されます。転送が終了すると、PictureProject に転送した画像が表示されます。
- **カメラの ㊍（転送 ）ボタンを押して転送する方法：**
  カメラの ㊍（転送 ）ボタンを押すと、転送マーク（）（76）の付いている画像がパソコンに転送されます。転送が始まるとカメラの液晶モニターには、次のように表示されます。

6 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

- **USB 通信方式が［MTP/PTP］の場合**
  カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜きます。
- **USB 通信方式が［Mass Storage］の場合**
  USB ケーブルを外したり、カメラの電源を OFF にする前に、必ず次の操作を行ってください。次の操作を行った後は、カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜きます。

  Windows Vista/XP：
  パソコン画面右下の [**ハードウェアの安全な取り外し**] アイコンをクリックして[**USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を安全に取り外します。**] を選んでください。

  Windows 2000 Professional：
  パソコン画面右下の [**ハードウェアの取り外しまたは取り出し**] アイコンをクリックして [**USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を停止します**] を選んでください。

  ※ ドライブ（E:）の「E」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

  Mac OS X：
  デスクトップ上の［NO_NAME］アイコンをゴミ箱に捨ててください。

ケーブル接続時のご注意

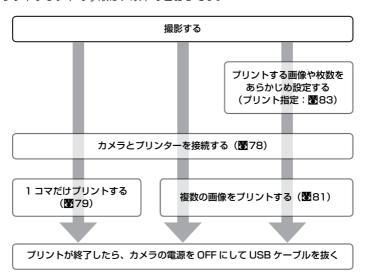
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

転送マーク（∾）について

再生時に ∾ マークが付いている画像は、パソコンとの接続時に OK ボタンを押すと、パソコンに転送されます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます。転送マークを付けたり外したりするには、以下の 2 通りの方法があります。

- セットアップメニューの［**インターフェース**］→［**転送設定**］(121)
  ON にすると、**これから撮影する画像すべて**に、転送マークを付けます（初期設定）。
- 再生メニューの［**転送マーク設定**］（109）
  撮影済みの画像に、個別に転送マークを付けたり外したりできます。

プリンターに接続する

PictBridge（147）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

画像のプリント方法について

SD カードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に次の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いた DPOF 対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、カメラの［**プリント指定**］メニューを使って、あらかじめ SD カードに設定できます（83）。

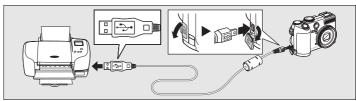
カメラとプリンターを接続する

1 カメラの USB 通信方式（📖74）を［MTP/PTP］に設定する

2 カメラの電源を OFF にする

3 プリンターの電源を ON にする

プリンターの設定を確認してください。

4 付属の USB ケーブルで、カメラとプリンターを接続する

5 カメラの電源を ON にする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに ① の画面が表示された後、［プリント画像選択］画面 ② が表示されます。

☑ ケーブル接続時のご注意

ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

1 コマだけプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（78）、次の手順でプリントしてください。

1 マルチセレクターの**左右**を押してプリントしたい画像を選び、Ⓚ ボタンを押す

- ［PictBridge］画面が表示されます。
- マルチセレクターの**左右**を押すかわりに、コマンドダイヤルを回して画像を選ぶこともできます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］を選び、Ⓚ ボタンを押す

3 プリント枚数（9 枚まで）を設定し、Ⓚ ボタンを押す

4 ［**用紙設定**］を選び、Ⓚ ボタンを押す

5 用紙サイズを選び、Ⓚ ボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選んで Ⓚ ボタンを押します。

6 ［プリント実行］を選び、Ⓚ ボタンを押す

7 プリントがはじまる

- プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数 ／ 総枚数

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（78）、以下の手順でプリントしてください。

1 ［**プリント画像選択**］画面が表示されたら、MENU ボタンを押す

- ［**プリントメニュー**］画面が表示されます。

2 マルチセレクターで［**用紙設定**］を選び、Ⓚ ボタンを押す

3 用紙サイズを選び、Ⓚ ボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選んで Ⓚ ボタンを押します。

4 ［**プリント選択**］、［**全画像プリント**］または［**DPOF プリント**］を選んで、Ⓚ ボタンを押す

プリント選択	画像を複数選んでプリントできます（ステップ 5 に進む）。
全画像プリント	SD カードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を 1 枚ずつプリントできます（ステップ 7 に進む）。
DPOF プリント	［**プリント指定**］（83）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。 • 右の画面が表示されます。 • ［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像がプリントされます（ステップ 7 に進む）。 • ［**画像の確認**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリント指定した画像が確認できます。もう一度 OK ボタンを押すと、画像がプリントされます（ステップ 7 に進む）。 • ［**キャンセル**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、ステップ 4 の画面に戻ります。

5 マルチセレクターの左右を押して、プリントする画像を選ぶ

- マルチセレクターの**左右**を押すかわりに、コマンドダイヤルを回して画像を選ぶこともできます。

6 マルチセレクターの上下を押して、プリント枚数（各 9 枚まで）を設定する

- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、チェックマークが消え、その画像の選択が解除されます。
- ステップ 5、6 を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら ⓚ ボタンを押します。

7 プリントがはじまる

- プリントが終わると、ステップ 2 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、ⓚボタンを押します。

プリント中
002/003
OKキャンセル

用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**Lサイズ**］、［**2Lサイズ**］、［**ハガキ**］、［**100×150 mm**］、［**4×6 - in**］、［**8×10 - in**］、［**Letter**］、［**A3サイズ**］、［**A4サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリンター側の設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選んでください。

SD カードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）

DPOF（147）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます。

撮影日や撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を画像に入れてプリントすることもできます。

プリント指定で設定した画像の選択やプリント枚数で、カメラを PictBridge 対応プリンターに接続してプリントすることもできます。カメラから SD カードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます。

1 再生モードで MENU ボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［プリント指定］を選び、㊍ ボタンを押す

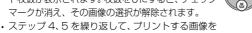
- ［**プリント指定**］画面が表示されます。

3 ［複数画像選択］を選び、㊍ ボタンを押す

4 マルチセレクターの左右を押して、プリントする画像を選ぶ

- マルチセレクターの**左右**を押すかわりに、コマンドダイヤルを回して画像を選ぶこともできます。

5 マルチセレクターの上下を押して、プリント枚数（各 9 枚まで）を設定する

- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、チェックマークが消え、その画像の選択が解除されます。
- ステップ 4、5 を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。

- ズームレバーをT（Q）方向に回すと1コマ表示に、W（⊞）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら ㊍ ボタンを押します。

6 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］を選んで ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影日が印字されます。
- ［**撮影情報**］を選んで ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報が印字されます。ただしカメラとプリンターを接続してプリントするときは、［**撮影情報**］は印字できません。
- ［**選択終了**］を選んで ⓚ ボタンを押すと、設定が有効になります。

［**プリント指定**］を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

プリント指定についてのご注意

プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］メニューを表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。

プリント指定をすべて取り消すには

83 のステップ 3 で［**プリント指定取消**］を選び、ⓚ ボタンを押します。すべての画像に対するプリント指定が取り消されます。

日付のプリントについて

プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**日時設定**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

［デート写し込み］との違いについて

［**プリント指定**］で設定した日付は DPOF 対応（147）プリンターでのみプリント可能です（プリント位置はプリンターに依存します）。DPOF に対応していないプリンターで日付をプリントするときは、セットアップメニューの［**デート写し込み**］（116）をお使いください（プリント位置は固定です）。両方を設定すると、DPOF 対応プリンターを使用しても［**デート写し込み**］による日付のみプリントされます。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

撮影に関する設定—撮影メニュー

モードダイヤルを P、S、A、M または HI ISO に合わせると、撮影メニューを使用できます。撮影メニューには、以下の項目があります。

メニュー項目	内容	
画質	撮影目的に合わせて画質（画像の圧縮率）を選択します。	87
画像サイズ	表示サイズやプリントサイズに合わせて画像サイズを選択します。	88
仕上がり設定	画像の仕上がりを、撮影状況や好みに合わせて設定します。	90
WB ホワイトバランス	画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	93
ISO ISO 感度設定※1	被写体の明るさなどに応じて、ISO 感度を設定します。	95
測光方式	カメラが被写体の明るさを測る方式を設定します。	96
連写※2	連写（連続撮影）するかどうかを設定します。	97
BSS BSS※2	ベストショットセレクター（最大 10 コマを連写し、最も鮮明な 1 コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）を設定します。	99
BKT ブラケティング※2	露出を少しずつずらした連続撮影を設定します。	100
AF エリア選択	画面のどの位置でピントが合うか設定します。	101
AF-MODE	カメラがいつピント合わせを行うかを設定します。	102
調光補正	フラッシュの発光量を補正します。	103
発光切り換え	内蔵フラッシュを発光禁止にするかどうかを設定します。	103
ズーム時 F 値保持	ズーミングに対応する F 値 (絞り値) の変化について設定します。	103

NR ノイズ低減※2	低速のシャッタースピードで撮影したときに画像に入る星状のノイズを低減します。	104
コンバーター	テレコンバーターやワイドコンバーターを使用するときに、最適な設定が行われるようにコンバーターの種類を選択します。	104

※1 高感度メニューでは、設定できません。
※2 これらの機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。詳しくは、141をご覧ください。

撮影メニュー※の表示方法

※モードダイヤルが のときは［**高感度**］と表示されます。

- 撮影メニューから撮影に戻るには、シャッターボタンを押すか、MENU ボタンを押してください。

メニューの操作について

メニューを操作するときは、マルチセレクターを使います（9）。マルチセレクターの**上下**を押すかわりに、コマンドダイヤルを回してメニュー項目を選ぶこともできます。

関連ページ

撮影メニューの初期設定：140

画質

記録する画像の圧縮率を設定します。

画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる画像コマ数は少なくなります。

画質を低くするほど、画像の細部の描写は失われますが、ファイルサイズが小さくなるので、記録できる画像コマ数は増えます。

	画質	
FINE FINE	高	［NORMAL］よりも精細な画質になります。画像を拡大するときや、プリンターで細かく表現したいときなどに適しています。圧縮率は 1/4 です。
NORMAL NORMAL（初期設定）	↑↓	一般的な撮影に適した画質モードです。圧縮率は 1/8 です。
BASIC BASIC	低	電子メールに添付したりホームページに掲載したりするときに適しています。圧縮率は 1/16 です。

- 画質の設定は、撮影時の画面で確認できます（6 ～ 7）。

関連ページ

記録可能コマ数：89

画像サイズ

記録する画像の大きさを設定します。

画像サイズを大きくすると、大きくプリントするのに適していますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる画像コマ数は少なくなります。

画像サイズを小さくすると、電子メールで送ったりホームページで使用するのに適しています。ただし、サイズが小さい画像を大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。

画像サイズ	プリント時のサイズ※
3648×2736（初期設定）	約 31×23 cm
2592×1944	約 22×16 cm
2048×1536	約 17×13 cm
1600×1200	約 14×10 cm
1280×960	約 11×8 cm
1024×768	約 9×7 cm
640×480	約 5×4 cm
3648×2432	約 31×21 cm
3584×2016	約 30 ×17 cm

※出力解像度を 300 dpi に設定した場合のサイズです。ピクセル数÷出力解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

- 画像サイズの設定は、撮影時の画面で確認できます（6 ～ 7）。

画像サイズ（3648×2432）と（3584×2016）について

- ［3648×2432］に設定すると、35 mm 判フィルムカメラで撮影したときと同じ縦横比の画像になります。
- ［3584×2016］に設定すると、ワイドテレビと同じ縦横比の画像になります。

記録可能コマ数

それぞれの［**画像サイズ**］（88）と［**画質**］（87）の組合せで、内蔵メモリーや 256MB の SD カードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量の SD カードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なる場合があります。

画像サイズ	画質	内蔵メモリー（約 21MB）	SD カード（256MB）
3648×2736（初期設定）	FINE NORMAL BASIC	4 コマ 9 コマ 17 コマ	約 50 コマ 約 100 コマ 約 195 コマ
2592×1944	FINE NORMAL BASIC	8 コマ 17 コマ 34 コマ	約 95 コマ 約 195 コマ 約 380 コマ
2048×1536	FINE NORMAL BASIC	14 コマ 27 コマ 51 コマ	約 155 コマ 約 305 コマ 約 575 コマ
1600×1200	FINE NORMAL BASIC	22 コマ 43 コマ 77 コマ	約 255 コマ 約 485 コマ 約 865 コマ
1280×960	FINE NORMAL BASIC	35 コマ 63 コマ 116 コマ	約 390 コマ 約 705 コマ 約 1300 コマ
1024×768	FINE NORMAL BASIC	51 コマ 93 コマ 155 コマ	約 575 コマ 約 1040 コマ 約 1730 コマ
640×480	FINE NORMAL BASIC	116 コマ 175 コマ 280 コマ	約 1300 コマ 約 1950 コマ 約 3120 コマ
3648×2432	FINE NORMAL BASIC	5 コマ 10 コマ 19 コマ	約 55 コマ 約 110 コマ 約 215 コマ
3584×2016	FINE NORMAL BASIC	6 コマ 12 コマ 24 コマ	約 65 コマ 約 135 コマ 約 265 コマ

※ 記録可能コマ数が 10000 コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

仕上がり設定

記録する画像の仕上がり（色の鮮やかさや輪郭の強調度合いなど）を撮影シーンや好みに合わせて設定します。

標準（初期設定）	標準的な画像に仕上げます。ほとんどの撮影状況に対応できます。
ソフトに	被写体の輪郭をソフトに再現します。人物の肌をなめらかに表現したいときや、撮影後にパソコン上で画像を加工したいときに適しています。
鮮やかに	彩度を高め、赤色と緑色を鮮やかに表現します。ややコントラストが高く、シャープな画像になります。
より鮮やかに	彩度とコントラストを高め、被写体の輪郭を強調した画像になります。
ポートレート	人物撮影に適しています。コントラストを抑え、肌の質感や立体感を自然に仕上げます。
カスタマイズ	仕上がりを自分で細かく設定することができます（91）。
白黒	白黒写真を撮影したいときに使います（92）。

- 仕上がり設定の設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。

仕上がり設定についてのご注意

［**仕上がり設定**］が［**標準**］、［**ソフトに**］、［**鮮やかに**］、［**より鮮やかに**］、［**ポートレート**］または［**白黒**］の［**スタンダード**］の場合、同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって仕上がり具合は変化します。一連の写真を写すときに同じような仕上がり具合にしたい場合は、［**カスタマイズ**］を選んで［**オート**］以外の項目を設定してください。

仕上がり設定の［カスタマイズ］について

仕上がり設定で［**カスタマイズ**］を選ぶと、［**コントラスト**］、［**輪郭強調**］、［**彩度調整**］の３種類の項目を個別に設定できます。

３種類の項目の内容は以下の通りです。

コントラスト

画像の階調（コントラスト）を設定します。初期設定は［**オート**］です。

コントラストを弱くすると軟調な画像になり、強くすると硬調な画像になります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは弱めが、かすんだ遠景の撮影などには強めが適しています。

輪郭強調

画像の輪郭の強調度合い（シャープネス）を設定します。初期設定は［**オート**］です。強めにするとくっきりとした画像になり、弱めにするとソフトな画像になります。

彩度調整

画像の色の鮮やかさを設定します。初期設定は［**オート**］です。［**弱め**］にすると鮮やかさが抑えられ、［**強め**］にするとより鮮やかになります。

輪郭強調についてのご注意

輪郭強調の効果は、撮影時の画面では確認できません。画像を再生して確認してください。

仕上がり設定の［白黒］について

仕上がり設定で［**白黒**］を選ぶと、右の画面が表示されます。［**スタンダード**］を選ぶと標準的な仕上がりになります。［**カスタマイズ**］を選ぶと、さらに［**コントラスト**］、［**輪郭強調**］、［**モノクロフィルター**］の３種類の項目を個別に設定できます。［**コントラスト**］と［**輪郭強調**］は［**カスタマイズ**］（91）の［**コントラスト**］と［**輪郭強調**］と同じです。

モノクロフィルター

白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果が得られます。フィルターカラーは［**OFF**］、［**黄**］、［**オレンジ**］、［**赤**］、［**緑**］から選べます。

モノクロフィルターについて

市販の白黒写真用カラーフィルターには、以下のような効果があります。

黄	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。黄 → オレンジ → 赤の順にコントラストが強くなります。
オレンジ	
赤	
緑	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

WB ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO **オート**（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE **プリセット**	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは次ページをご覧ください。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。

- ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。
［**オート**］のときは、何も表示されません。

［オート］、［フラッシュ］以外を選んだとき

［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（27）。

PRE プリセットホワイトバランス

特殊な照明の下で撮影するときなど、[**オート**]や[**電球**]などの設定では望ましい結果が得られない場合に使用します(赤みがかった照明下で撮影した画像を普通の照明下で撮影したように見せたいときなど)。

1 撮影時に使う照明と、白またはグレーの被写体を用意する

2 マルチセレクターで[**ホワイトバランス**]画面の[**プリセット**]を選び、Ⓚ ボタンを押す

- レンズが望遠側にズーミングします。

3 [**新規設定**]を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、[**前回の設定**]を選んで Ⓚ ボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を写す

測定窓

5 Ⓚ ボタンを押す

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます。
- 画像は記録されません。

プリセットホワイトバランスについてのご注意

ステップ5で Ⓚ ボタンを押したとき、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスの測定はできません。

ISO ISO 感度設定

フィルムカメラで使うフィルムの ISO 感度に相当する数値を設定します。ISO 感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。

［**オート**］（初期設定）にすると、明るい場所では、ISO64 になりますが、暗い場所では、自動的に ISO800 まで ISO 感度が高くなります。ISO 感度を固定するときは、［**64**］、［**100**］、［**200**］、［**400**］、［**800**］、［**1600**］、［**2000**］、［**3200**］から選んでください。モードダイヤルが **M** のときに［**オート**］を選ぶと、ISO 感度は 64 に固定されます。

- ISO 感度の設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。［**オート**］に設定した場合、ISO 64 で撮影できるときは何も表示されず、感度が自動的に上がったときに［**ISO**］マークが表示されます（29）。

ISO 感度［3200］についてのご注意

- ［**ISO 感度設定**］を［**3200**］に設定すると、撮影時の画面の画像サイズアイコンが赤く表示されます。
- ［**ISO 感度設定**］が［**3200**］のときは、［**画像サイズ**］（88）の［**10M 3648×2736**］、［**3:2 3648×2432**］、［**16:9 3584×2016**］は選択できません。［**画像サイズ**］が［**10M 3648×2736**］、［**3:2 3648×2432**］、［**16:9 3584×2016**］のときに［**ISO 感度設定**］を［**3200**］に設定すると、［**画像サイズ**］が［**5M 2592×1944**］に変更されます。［**ISO 感度設定**］を［**3200**］以外に変更すると、［**画像サイズ**］の設定が元に戻ります。
- ［**ISO 感度設定**］を［**3200**］に設定すると、シャッタースピードが最長２秒までに制限されます。

測光方式

露出を合わせるためにカメラが被写体の明るさを測ることを測光といいます。測光する方式を設定します。

マルチパターン（初期設定）	さまざまな撮影状況で適正な露出が得られるマルチパターン測光になります。通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
中央部重点	画面に表示されている中央部重点測光範囲で測光します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使用します。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、AF ロック(102)を使用してください。
スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使用します。被写体がスポット測光範囲に入るように撮影してください。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、AF ロック（102）を使用してください。
AF スポット	選択されている AF エリアを測光し、露出値を決定します。［**AF エリア選択**］（101）が［**オート**］または［**マニュアル**］のときに設定できます。

測光方式についてのご注意

電子ズームが 1.2 ～ 1.8 倍のときには、［**測光モード**］は［**中央部重点**］に、2.0 ～ 4.0 倍のときには［**スポット**］になります。ただし、測光範囲は表示されません。

測光方式表示について

［**測光方式**］を［**中央部重点**］または［**スポット**］に設定すると、設定した測光範囲が液晶モニターに表示されます。

連写

連写（連続撮影）するための設定です。連写中のピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

単写（初期設定）	1コマずつ撮影します。
連写	シャッターボタンを全押ししている間、約0.8コマ/秒で最大8コマまで連写できます（画質がNORMAL、画像サイズが3648×2736のとき）。
フラッシュ連写	シャッターボタンを全押ししている間、約0.8コマ/秒で連続約3コマの内蔵フラッシュを使った連続撮影を行います（画質がNORMAL、画像サイズが3648×2736のとき）。1セットの連続撮影が終わるたびに、内蔵フラッシュを充電し、充電が終わるまでは、次の撮影を行うことができません。ISO感度を上げて撮影するので、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。
インターバル撮影	あらかじめ設定した撮影間隔（インターバル）で、静止画を自動的に連続撮影（最大1800コマ）します（98）。

- 連写モードの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。
  ［**単写**］のときは、何も表示されません。

連写速度についてのご注意

画質や画像サイズ、SDカードの種類により、最大連写速度が遅くなることがあります。

フラッシュ連写についてのご注意

- ［**コンバーター**］を［**ワイドコンバーター**］または［**テレコンバーター**］にすると、［**連写**］モードを［**フラッシュ連写**］にしていても、［**単写**］に変更されます。［**コンバーター**］を［**OFF**］に戻しても、［**連写**］モードは［**単写**］のままです。
- ［**連写**］が［**フラッシュ連写**］の場合、フォーカスモード（31）を遠景AFに設定できません。フォーカスモードが遠景AFのときに［**連写**］を［**フラッシュ連写**］にすると、フォーカスモードは通常AFに変更されます。

関連ページ

連写時の内蔵フラッシュ、別売スピードライトの使用について：141

インターバル撮影をする

1 ［連写］画面で［インターバル撮影］を選び、Ⓚ ボタンを押す

2 撮影間隔を選び、Ⓚ ボタンを押す

3 MENU ボタンを押す

- 撮影場面に戻ります。

4 シャッターボタンを全押しして、1回目の撮影を始める

- 撮影の合間は、液晶モニターが消灯して電源ランプが点滅します。次のコマの撮影直前になると、自動的に再点灯します。

5 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

- 内蔵メモリー /SDカードの残量が無くなったとき、または撮影コマ数が 1800 コマに達したときは、撮影が自動的に終了します。

インターバル撮影についてのご注意

- 途中でバッテリーが切れることがないように、別売のACアダプターキットEH-62Aまたは充分に充電したバッテリーをお使いください。
- インターバル撮影中は、モードダイヤルを回さないでください。

関連ページ

［**インターバル撮影**］で撮影した画像のファイル名とフォルダ名：142

BSS BSS

手ブレしやすい状況での撮影に便利な BSS（ベストショットセレクター）を設定します。[ON] にすると、フラッシュが発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマと同じ条件に固定されます。

BSS ON	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大 10 コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている 1 コマをカメラが自動的に選んで記録します。
OFF OFF（初期設定）	通常通り、1 コマずつ撮影します。

• BSS の設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。
[OFF] のときは、何も表示されません。

BSS についてのご注意

BSS は静止している被写体の撮影に効果的ですが、動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

BKT ブラケティング

露出を少しずつずらした連続撮影をカメラが自動的に行います。露出補正を行うのが難しいときに使用すると便利です。

±0.3 ± 0.3	0、+ 0.3、− 0.3 の順で自動的に露出をずらしながら、3 コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3 コマを連続して撮影します。
±0.7 ± 0.7	0、+ 0.7、− 0.7 の順で自動的に露出をずらしながら、3 コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3 コマを連続して撮影します。
±1.0 ± 1.0	0、+ 1.0、− 1.0 の順で自動的に露出をずらしながら、3 コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3 コマを連続して撮影します。
OFF OFF（初期設定）	ブラケティングを行いません。

- ブラケティングの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。
  ［**OFF**］のときは、何も表示されません。

ブラケティングについてのご注意

- モードダイヤルが M の場合、［**ブラケティング**］は使用できません。
- ［**ON**］に設定した場合、フラッシュモードが（発光禁止）になります。
- 露出補正（32）と［**ブラケティング**］の［**± 0.3**］、［**± 0.7**］、［**± 1.0**］のいずれかを同時に設定した場合は、補正量が加算されます。

[+] AF エリア選択

画面のどの位置でピントが合うかを設定します。

オート （初期設定）	9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った AF エリアが画面に表示されます。	AF エリア
マニュアル	画面内の 99 カ所から、ピントを合わせたい位置を自分で選びます。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合に適しています。画面に表示される AF エリアを、マルチセレクターの**上下左右**でピントを合わせたい位置に動かしてから、撮影してください。※	AF エリア 選択可能エリア
中央	画面中央の被写体にピントが合います。AF エリアが画面中央に常に表示されます。	AF エリア

※フラッシュモード（27）やフォーカスモード（31）、セルフタイマー（30）、露出補正（32）の設定を変更したいときは、OK ボタンを押していったん AF エリア選択状態を解除してから、設定を行ってください。もう一度 OK ボタンを押すと、再び AF エリアを選べるようになります。

AF エリアの表示について

- ピントが合うと、選択された AF エリアが緑色で表示されます。
- ピントが合わない場合は AF エリアが赤く点滅します。
- ［**オート**］に設定している場合は、シャッターを半押しするまで AF エリアは表示されません。

AF-MODE（オートフォーカスモード）

カメラがいつピントを合わせるかを設定します。

AF-S	シングル AF（初期設定）	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。
AF-F	常時 AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。

AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、AF エリアの被写体にピントが合います。そのまま半押しを続けると、ピントと露出はそのまま固定（AF ロック）されます。AF ロックは構図を工夫したい撮影や、オートフォーカスが苦手な被写体（24）の撮影などに便利です。ここでは、［**AF エリア選択**］を［**中央**］に設定した場合の AF ロックの操作方法を説明します。

1 ピントを合わせたい被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AF ランプと AF 表示が点灯します。

3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体：24

調光補正

フラッシュの発光量を補正します。発光量を多くして中心となる被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、背景に対する被写体の明るさを調整したいときに使います。調光補正値は－2.0EV ～＋2.0EV の範囲で、1/3 段ごとに設定できます（＋にすると発光量が多くなり、－にすると発光量が少なくなります）。

- 別売のスピードライト（外付けフラッシュ）SB-400、SB-600、SB-800（126）をカメラに装着している場合は、スピードライトの発光量を補正します。

発光切り換え

カメラのアクセサリーシュー（126）に装着した別売スピードライト（フラッシュ）を使用しないときにも、内蔵フラッシュを発光禁止にするかどうかを設定します。

オート （初期設定）	スピードライト使用時は、スピードライトが発光します。スピードライトを使用しないときは、内蔵フラッシュが発光します。
内蔵発光禁止	内蔵フラッシュを常に発光禁止にします。

ズーム時 F 値保持

ズーミングに対応する F 値（絞り値）の変化について設定します。

ON	モードダイヤルが **A** または **M** のとき、絞り値の変化を最小限に抑えながらズーミングを行います。ただし、ズーミングによって絞りの制御範囲を超えてしまうことがあります。F5.1 ～ F7.3 の範囲内に絞り値をセットしてご使用ください。
OFF （初期設定）	ズーミングに対応して絞り値が変化します。

NR ノイズ低減

暗いところなどで撮影する場合、シャッタースピードが遅くなると、画像にノイズが入る場合があります。このノイズを低減する設定を行います。

自動 ON	ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになると、ノイズ低減を行います。撮影開始から内蔵メモリー /SD カードへ画像が記録されるまでの時間が、通常より長くかかります。
OFF（初期設定）	ノイズ低減は機能しません。

- ノイズ低減の設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

コンバーター

別売のアダプターリング UR-E20（123）を使用して、ワイドコンバーター WC-E67 またはテレコンバーターTC-E3ED を装着する場合に設定します。［**テレコンバーター**］や［**ワイドコンバーター**］を選ぶと、それぞれのコンバーターに最適なズーミングなどの設定を行います。コンバーターの装着方法については、125 ページをご覧ください。コンバーターの使用方法の詳細については、各コンバーターの使用説明書をご覧ください。

<table>
<tr><td>OFF　OFF（初期設定）</td><td>コンバーターを使用しないときに設定します（アダプターリングは必ず取り外してください）。</td></tr>
<tr><td>ワイド
コンバーター
（WC-E67）</td><td>ワイドコンバーター WC-E67 使用時に設定します。ワイドコンバーター WC-E67 を使うと、約 24mm 相当（35mm 判換算の撮影画角）の広角撮影が楽しめます（［ゆがみ補正 OFF］でズームを最も広角側にしたとき）。レンズが自動的に最も広角側にセットされます。光学ズームは全域で使用できますが、ワイドコンバーターの特性上、望遠側では性能が低下します。電子ズームは使用できません。
［ワイドコンバーター］を選んで ⓚ ボタンを押すと、右の画面が表示されます。広角レンズの特性で画像周辺部に生じるゆがみを補正するかどうかを選ぶことができます。
<table><tr><td>ゆがみ補正 ON（初期設定）</td><td>ゆがみを補正します。</td></tr><tr><td>ゆがみ補正 OFF</td><td>ゆがみを補正しません。</td></tr></table>ゆがみを補正すると、ゆがみを補正しない場合に比べて、撮影範囲が狭くなります。</td></tr>
<tr><td>テレ
コンバーター
（TC-E3ED）</td><td>テレコンバーター TC-E3ED 使用時に設定します。テレコンバーター TC-E3ED を使うと、約 378mm 相当（35mm 判換算の撮影画角）の望遠撮影が楽しめます（ズームの最も望遠側）。レンズが自動的に最も望遠側にセットされます。光学ズームは望遠側に制限されます。フォーカスモード（31）は設定できません。</td></tr>
</table>

- コンバーターの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

コンバーターについてのご注意

- 撮影を行う前に、必ず、カメラに装着したコンバーターに合ったコンバーターを［**コンバーター**］で選んでください。コンバーターを外して撮影するときは、［**コンバーター**］を［**OFF**］にしてください。
- ［**コンバーター**］が［**ワイドコンバーター**］または［**テレコンバーター**］の場合は、内蔵フラッシュが自動的に発光禁止になります。ただし、別売のスピードライト（126）を使うことによって、フラッシュ撮影を行うことができます。［**連写**］の［**フラッシュ連写**］は設定できません。ワイドコンバーターを装着してスピードライトをお使いの場合、ズームの広角側で撮影すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。撮影後、液晶モニターで画像を確認してください。SB-600、SB-800 の場合は、ワイドパネルを使用することをおすすめします。
- ［**コンバーター**］を［**ワイドコンバーター**］→［**ゆがみ補正 ON**］に設定すると、［**連写**］は［**単写**］になります。［**BSS**］、［**ブラケティング**］は設定できません。
- ［**コンバーター**］が［**ワイドコンバーター**］または［**テレコンバーター**］の場合は、AF 補助光は使用できません。

再生に関する設定—再生メニュー

再生メニューには、以下の項目があります。

メニュー項目	内容	[page ref icon]
D-ライティング	表示している画像の階調（明るさ）を補正します。	56
プリント指定	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	83
スライドショー	内蔵メモリー/SD カード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	108
削除	画像を削除します。	109
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	109
転送マーク設定	撮影済みの画像に、パソコンに転送するための転送マークを付けます。	109
非表示設定	画像を非表示画像選択画面以外で表示しないように設定します。	110
スモール ピクチャー	撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。	58
画像コピー	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	110

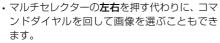
再生メニューの表示方法

- メニューを操作するときは、マルチセレクターを使います（9）。
- 再生メニューから再生に戻るには、MENU ボタンを押してください。

画像選択画面の操作方法

再生メニューの［**プリント指定**］（83）、［**削除**］（109）、［**プロテクト設定**］（109）、［**転送マーク設定**］（109）、［**非表示設定**］（110）、［**画像コピー**］（110）およびセットアップメニューの［**オープニング画面**］（114）では、右のような画像選択画面が表示されます。操作方法は以下のとおりです。

1 マルチセレクターの**左右**を押して、画像を選ぶ

- マルチセレクターの**左右**を押す代わりに、コマンドダイヤルを回して画像を選ぶこともできます。

- ［**オープニング画面**］の画像選択では、1 画像しか選べません。→ ステップ 3 へ
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示、**W**（⊞）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。

2 マルチセレクターの**上下**を押して、ON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ON にすると、選択画像左上にチェックマークが表示されます。他の画像にも設定したいときは、ステップ 1、2 を繰り返してください。

3 Ⓚ ボタンを押す

- 設定が有効になります。

スライドショー

内蔵メモリー /SD カードに記録されている画像を、1 コマずつ順番に自動再生します。

1 再生方法を設定する

画像が表示される時間を変更するには、［**インターバル設定**］を選んで ㊉ ボタンを押し、間隔を選んでください。
繰り返し再生するには、［**エンドレス**］を選んで ㊉ ボタンを押し、□ を ☑ にしてください。

2 マルチセレクターで［**開始**］を選ぶ

3 ㊉ ボタンを押す

- スライドショーが始まります。スライドショーの再生中は、次の操作を行えます。
  - マルチセレクターの**右**を押すと次の画像が、**左**を押すと前の画像が表示されます（ボタンを押し続けると早送り/巻き戻しになります）。
  - ㊉ ボタンを押すと一時停止します。
- スライドショー終了時や一時停止時には、右の画面が表示されます。［**終了**］を選ぶと再生メニューに戻り、［**再開**］を選ぶとスライドショーが再開されます。

☑ スライドショーについてのご注意

- 動画（65）は 1 フレーム目だけが表示されます。
- ［**エンドレス**］で再生していても、何も操作しないで約 30 分経過すると、液晶モニターが消灯します。何も操作しないまま、さらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります。

削除

画像を削除します。

削除画像選択	画像選択画面（107）で、削除する画像を選びます。
全画像削除	すべての画像を削除します。

- マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）が設定されているため、削除できません。
- 削除した画像は元に戻せないのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定することができます。ただし、内蔵メモリー /SD カードを初期化（フォーマット、120）すると、プロテクトを設定した画像も削除されるので、ご注意ください。

- プロテクト設定した画像には、1 コマ再生モードと画像選択画面で マーク（ 7）が、4コマまたは9コマサムネイル表示モードで マーク（ 53）が表示されます。

転送マーク設定

撮影した画像に、転送マーク（76）を付けたり外したりできます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます。

全 ON	撮影済みの画像に転送マークを付けます。
全 OFF	撮影済みの画像から転送マークを外します。
複数画像選択	画像選択画面（107）で、転送マークを付ける画像を選びます。

- 転送設定した画像には、1 コマ再生モードで マーク（ 7）が、4コマまたは9コマサムネイル表示モードで マーク（ 53）が表示されます。

非表示設定

画像を非表示画像選択画面（107）以外では表示しないように設定することができます。非表示設定した画像は [**削除**] では削除されません。ただし、内蔵メモリー /SD カードを初期化（フォーマット、120）すると、非表示設定した画像も削除されるので、ご注意ください。

画像コピー

内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、画像をコピーすることができます。

1 マルチセレクターの上下を押して、コピーの方向※を選び、Ⓚ ボタンを押す

※IN→カード：内蔵メモリーから SD カードへ
　カード→IN：SD カードから内蔵メモリーへ

2 マルチセレクターの上下を押して、コピーの方法を選び、Ⓚ ボタンを押す

[**選択画像コピー**] → ステップ 3 へ
[**全画像コピー**] → ステップ 4 へ

3 コピーしたい画像を指定する（ 107）

4 Ⓚ ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

5 [はい] を選んで Ⓚ ボタンを押す

- 画像がコピーされます。

画像コピーについてのご注意

- SD カードがカメラに入っていないとき、このメニューを選ぶことはできません。
- ［**プリント指定**］（83）を行ったり、［**転送マーク設定**］（109）を ON にした画像をコピーしても、これらの設定内容は引き継がれません。ただし、［**プロテクト設定**］（109）をした画像をコピーしたときは、コピー先の画像もプロテクト（保護）されます。
- ［**非表示設定**］（110）した画像は画像コピーできません。
- 画像に付けた「音声メモ」（59）は画像と同時にコピーされますが、［**音声レコード**］の音声データはコピーされません。音声レコードのデータをコピーする方法については、70 をご覧ください。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像に対しては、画像コピー機能の動作は保証しておりません。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SD カードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されます。内蔵メモリーに記録されている画像を SD カードにコピーしたいときは、MENU ボタンを押すと［画像コピー］画面が表示され、画像をコピーできます。

関連ページ

コピー画像のファイル名とフォルダ名：142

カメラに関する基本設定—セットアップメニュー

セットアップメニューには、以下の項目があります。

メニュー項目	内容	📖
メニュー切り換え	メニューの表示形式を切り換えます。	113
高速起動	オープニング画面と起動音の有無を設定します。	113
オープニング画面	電源を ON にしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	114
日時設定	内蔵時計を合わせます。	114
画面の明るさ	画面の明るさを調整します。	116
デート写し込み	画像に撮影日時を写し込む設定を行います。	116
手ブレ補正	撮影時に手ブレ補正を行うかどうかを設定します。	118
AF 補助光	AF 補助光の点灯 / 非点灯を設定します。	118
電子ズーム	電子ズーム使用時の動作について設定します。	119
操作音	操作音について設定します。	119
オートパワーオフ	待機状態に入るまでの時間を設定します。	120
メモリーの初期化 / カードの初期化	内蔵メモリー /SD カードを初期化します。	120
言語 /LANGUAGE	画面に表示される言語を設定します。	121
インターフェース	パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。	121
FUNC ボタン設定	Fn（ファンクション）ボタンを押したときの動作を設定します。	122
設定クリアー	各種設定を初期状態に戻します。	122
バージョン情報	ファームウェアの情報を表示します。	122

関連ページ

セットアップメニューの初期設定：📖140

セットアップメニューの表示方法

- メニューを操作するときは、マルチセレクターを使います（9）。
- セットアップメニュー画面を終了するには、モードダイヤルを他のモードに合わせてください。

メニュー切り換え

メニューの表示方法を［**文字タイプ**］（初期設定）と［**アイコンタイプ**］の 2 種類から選択できます。
［**アイコンタイプ**］に設定すると、メニューの全項目を 1 画面に表示できます。アイコンタイプの場合、選択中のメニュー名は画面上部に表示されます。

文字タイプ

アイコンタイプ

高速起動

［**ON**］（初期設定）に設定すると、電源を ON にしたときに「オープニング画面」（114）とオープニング音が再生されず、すぐに撮影できる状態になります。

オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに液晶モニターに表示されるオープニング画面を設定します。
オープニング画面を設定するときは、［**高速起動**］を［**OFF**］にしてください。

Nikon	電源を ON にしたとき、オープニング画面が表示されます。
アニメーション（初期設定）	電源を ON にしたとき、オープニングアニメーションが表示されます。
撮影した画像	内蔵メモリー /SD カード内の画像を、オープニング画面として登録できます。［**撮影した画像**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、画像選択画面（107）が表示され、画像を選べます。登録した画像はカメラに記憶されるため、その画像を削除したりSDカードを入れ換えたりしても、オープニング画面は変わりません。 オープニング画面 Nikon アニメーション 撮影した画像

日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能も設定できます。

日時	内蔵時計の日付と時刻を設定します。詳しくは、「表示言語と日時を設定する」（15）をご覧ください。
ワールドタイム	自宅（🏠）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）の設定や変更を行います。また、訪問先のタイムゾーン（✈）を登録すると、自宅（🏠）との時差（143）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラのバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるか別売の AC アダプターキット EH-62A を接続すると、時計用電池が充電されます。充電には約 10 時間かかり、数日間、設定した日時を記憶することができます。

時差のある地域で使うには

1 マルチセレクターで［ワールドタイム］を選び、Ⓚ ボタンを押す

- ［ワールドタイム］画面が表示されます。

2 ✈（訪問先）を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 訪問先の時計に切り換わります。
- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域でお使いになる場合は、マルチセレクターで［夏時間］を選んで Ⓚ ボタンを押し（時間が 1 時間進みます）、マルチセレクターの**上**を押します。

3 マルチセレクターの右を押す

- ［訪問先の設定］画面が表示されます。

4 訪問先の地域を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 訪問先の地域が切り換わります。
- 訪問先の時計に設定されているときは、撮影時の画面に ✈ マークが表示されます。

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、ステップ 2 で 🏠（自宅）マークを選んでください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、ステップ 2 で 🏠（自宅）マークを選び、訪問先と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

- **夏時間（サマータイム）が実施されていないときに日時設定した場合；**
  日時設定後に夏時間が実施された場合は、［**夏時間**］のチェックボックスをオン［☑］にすれば、カメラの時刻が 1 時間進みます。
- **夏時間の実施中に［夏時間］のチェックボックスをオン［☑］にして日時設定した場合；**
  日時設定後に夏時間の期間が終了したときは、［**夏時間**］のチェックボックスをオフにすれば、カメラの時刻が 1 時間戻ります。

画面の明るさ

画面の明るさを 5 段階で調節できます。初期設定は［3］です。

デート写し込み

画像に直接日時を写し込みます。DPOF（147）に対応していないプリンターで日付入り画像をプリントしたいときなどに使用します。

OFF（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。
年・月・日	撮影した画像の右下に、直接日付、時刻が写し込まれます。
年・月・日・時刻	
誕生日カウンター	お子様の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です。

- デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。［**デート写し込み**］を有効にしていても、一部の撮影モードでは、日時が写し込まれないことがあります（135）。
- ［**画像サイズ**］（88）が［**640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらい場合があります。［**画像サイズ**］は［**1024×768**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**日時設定**］（15、114）での設定と同じになります。

関連ページ

［**デート写し込み**］と［**プリント指定**］の違い：84

誕生日カウンターの使い方

特定の日付からの日数を画像に入れられます。誕生日や結婚式までの日数をカウントダウン形式で入れたり、お子様が産まれた日からの経過日数を入れるなどの用途に使えます。

日付登録	1 ～3のいずれかを選んでマルチセレクターの**右**を押すと、［日付設定］画面が表示されます。16 と同様の手順で日付を設定後、OK ボタンを押してください。日付は 3 種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1 ～ 3のいずれかを選んで、OK ボタンを押してください。
表示選択	日付の表示形式を［**日数**］、［**年・日**］、［**年・月・日**］から選び、OK ボタンを押してください。

- 誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。

記念日まであと 2 日の場合

記念日から 2 日後の場合

VR 手ブレ補正

手ブレ補正機能は、望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを効果的に補正します。手ブレ補正機能はすべての撮影モードで使用できます。

ON （初期設定）	静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。また、カメラが流し撮りの動きを自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。たとえば、横方向に流し取りするときには縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りするときには横方向の手ブレだけが補正されます。
OFF	手ブレ補正を行いません。

- 手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。［**OFF**］のときは、何も表示されません。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、撮影画面の画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 三脚でカメラを固定させて撮影する場合には、手ブレ補正を OFF にしてください。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できない場合があります。
- （ブレ軽減）モード（44）では、［**手ブレ補正**］での設定にかかわらず、手ブレ補正 ON として動作します。
- VR は Vibration Reduction の略称です。

AF 補助光

［**AUTO**］（初期設定）に設定すると、暗い場所などで自動的に AF 補助光が点灯します。ただし、［**AUTO**］に設定していても、一部のシーンモードでは AF 補助光が点灯しません。

［**OFF**］に設定すると、AF 補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがありますので、ご注意ください。

回 電子ズーム

電子ズーム使用時の動作について設定します。

ON （初期設定）	光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを T 方向に回すと、電子ズーム（☞ 22）が作動します。
クロップ	光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを T 方向に回すと、電子ズーム（☞ 22）が作動しますが、画像の劣化が発生しない範囲内に電子ズームを制限します。
OFF	電子ズームは作動しません（動画撮影時を除きます）。

☑ 電子ズームについてのご注意

- 次の場合は電子ズームを使用することができません。
  - シーンモードの 顔（顔認識 AF）、ポートレート（ポートレート）、夜景ポートレート（夜景ポートレート）のとき
  - ［**コンバーター**］（☞104）が［**ワイドコンバーター**］のとき
- 電子ズームの作動中は AF エリア（☞101）が中央に固定されます。
- 電子ズームが 1.2 ～ 1.8 倍のときには、[**測光モード**] は [**中央部重点**] に、2.0 ～ 4.0 倍のときには［**スポット**］になります。

操作音

操作音について設定します。

設定音	設定音（電子音 1 回：設定完了時など）や警告音（電子音 3 回：禁止動作を行ったときなど）の ON（初期設定）/OFF を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音の種類を [**1**]（初期設定）、[**2**]、[**3**]、［**OFF**］から選べます。
音量	［**シャッター音**］とオープニング音（☞114）の音量を［**大**］、［**標準**］（初期設定）、［**OFF**］から選べます。

オートパワーオフ

電源を ON にしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、バッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターが消灯し、待機状態（21）に入ります。待機状態になると、電源ランプが点滅します。待機状態に入るまでの時間を［**30秒**］、［**1分**］（初期設定）、［**5分**］、または［**30分**］から選べます。待機状態に入ってから、何も操作しないでさらに約3分経過すると、電源が OFF になります。

オートパワーオフについてのご注意

以下の場合は、待機状態に入るまでの時間が決まっています。

- メニューの表示中：3 分
- スライドショーのエンドレス再生中、別売のACアダプターキットEH-62Aを接続中：30分

/メモリー / カードの初期化

内蔵メモリーまたは SD カードを初期化（フォーマット）します。初期化すると、メモリー内またはカード内のデータはすべて消えてしまうので、必要なデータは事前にパソコンなどに転送してください。

初期化についてのご注意

初期化中は、電源を OFF にしたり、バッテリー /SD カードカバーを開けたり、バッテリーや SD カードを取り出したりしないでください。

言語/LANGUAGE

画面に表示される言語を、「日本語」または「英語」の2種類から選べます。

インターフェース

パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。

USB	パソコンやプリンターとの通信方式を［MTP/PTP］と［Mass Storage］から選びます。詳しくは 73（パソコンとの接続時）、78（プリンターとの接続時）をご覧ください。
ビデオ出力	ビデオの出力方式を［NTSC］と［PAL］から選べます。［NTSC］と［PAL］はいずれもアナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC 方式が、欧州では PAL 方式が主流です。
転送設定	［ON］（初期設定）にすると、設定後に撮影するすべての画像に転送マーク（76）が付きます。

Fn FUNC ボタン設定

モードダイヤルが P、S、A または M のいずれかのときの Fn（ファンクション）ボタンの役割を、以下の表のように変更できます。

ISO 感度設定（初期設定）	Fn ボタンを押すと、ISO 感度（95）のリストが表示されます。Fn ボタンを押したままコマンドダイヤルを回して ISO 感度を選んでから Fn ボタンを離すと、ISO 感度が設定されます。
画質	Fn ボタンを押すと、画質（87）のリストが表示されます。Fn ボタンを押したままコマンドダイヤルを回して画質を選んでから Fn ボタンを離すと、画質が設定されます。
画像サイズ	Fn ボタンを押すと、画像サイズ（88）のリストが表示されます。Fn ボタンを押したままコマンドダイヤルを回して画像サイズを選んでから Fn ボタンを離すと、画像サイズが設定されます。
ホワイトバランス	Fn ボタンを押すと、ホワイトバランス（93）のリストが表示されます。Fn ボタンを押したままコマンドダイヤルを回してホワイトバランスを選んでから Fn ボタンを離すと、ホワイトバランスが設定されます。 • ［**プリセット**］を選んで Fn ボタンを離すと、94 のステップ 3 の画面が表示されます。
手ブレ補正	Fn ボタンを押すと、手ブレ補正（118）のリストが表示されます。Fn ボタンを押したままコマンドダイヤルを回して手ブレ補正の ON/OFF を選んでから Fn ボタンを離すと、手ブレ補正の ON/OFF が設定されます。

C 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの各種設定が初期状態にリセットされます。初期設定については、140 をご覧ください。

Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

付録

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5
充電器	バッテリーチャージャー MH-61 ※
AC アダプター	AC アダプターキット EH-62A ※ < EH-62A の取り付け方＞ バッテリー /SD カードカバーとパワーコネクターカバーを開けて、AC アダプターのパワーコネクターをカメラに入れます。バッテリー/SD カードカバーを閉める前に、AC アダプターのコードがカメラの切り欠き部分に収まっていることを必ず確認してください。コードが切り欠き部分からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーを破損する恐れがあります。
USB ケーブル	USB ケーブル UC-E6
AV ケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14
コンバータレンズ （アダプターリング UR-E20 が必要です。）	• ワイドコンバーター WC-E67（0.67 倍） • テレコンバーター TC-E3ED（3 倍）
アダプターリング	アダプターリング UR-E20
スピードライト（外付けフラッシュ）	ニコンスピードライト SB-400、SB-600、SB-800
ストラップ	ストラップ AN-CP16

※日本国内専用電源コード（AC100V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

✔ コンバーターまたはアダプターリング使用時のご注意

コンバーターまたはアダプターリングの先端に、フィルターやレンズフードを取り付けないでください。フィルターやレンズフードを取り付けて撮影すると、画像の周辺が暗くなります。

推奨 SD カード一覧

以下の SD メモリーカードの動作を確認しています。

SanDisk 社製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB[※1]、4GB[※1、2] 10MB/s の高速転送タイプ：512MB、1GB、2GB[※1] 20MB/s の高速転送タイプ：1GB、2GB[※1]
東芝製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB[※1]、4GB[※1、2] 10MB/s の高速転送タイプ：128MB、256MB、512MB、1GB
松下電器（Panasonic）製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB[※1]、4GB[※1、2] 10MB/s の高速転送タイプ：256MB 20MB/s の高速転送タイプ：512MB、1GB、2GB[※1]
Nikon 製	10MB/s の高速転送タイプ：1GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がこれらの SD カードに対応していないときは、付属の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続してください。

※2 SDHC 規格 に対応しています。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。
最新の動作確認済み SD カードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

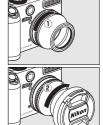
コンバーターについて

このカメラには、別売のワイドコンバーター WC-E67 またはテレコンバーター TC-E3ED を取り付けることができます。コンバーターは以下の手順で取り付けてください。※

※イラストはワイドコンバーター WC-E67 を使用しています。操作はテレコンバーター TC-E3ED も同じです。

1 カメラの電源を OFF にしてから、カメラのレンズリングを図の方向に回して外す

2 コンバーターのリアキャップを外す

3 カメラのレンズにアダプターリング UR-E20 を取り付け（①）、そのリングの前面にコンバーターをねじ込む（②）

4 モードダイヤルを P、S、A、M または 🅗 に切り換えて、撮影メニューの［**コンバーター**］（👁 104）の設定をカメラに装着したコンバーターに合わせる

5 コンバーターのフロントキャップを外す

- コンバーターを取り外すときは、カメラの電源を OFF にして、上記と逆の手順で行います。コンバーターを取り外した後、［**コンバーター**］（👁104）の設定を［**OFF**］に戻してください。
- コンバーターの使用方法の詳細については、各コンバーターの使用説明書をご覧ください。

別売のニコン製スピードライト（フラッシュ）について

このカメラは、別売のニコン製スピードライト SB-400、SB-600、SB-800 を直接取り付けることができるアクセサリーシューを備えています。内蔵フラッシュでは充分に照明されないときなどに、スピードライトを使うと効果的です。スピードライト使用時には、内蔵フラッシュは自動的に発光禁止になります。液晶モニターに 外部フラッシュ マーク（別売スピードライト表示）が点灯している間、スピードライトのフラッシュモードが表示され、内蔵フラッシュと同じ操作で設定できます（27）。

スピードライトを取り付けるときは、カメラのアクセサリーシューカバーを外してください。アクセサリーシューカバーは、右図の矢印の方向に押してスライドさせると外れます。

- スピードライトの取り付け方法、使用方法の詳細については、各スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- スピードライトを使わないときは、アクセサリーシューカバーをカメラに取り付けてください。

スピードライト SB-400、SB-600、SB-800 について

- SB-400、SB-600、SB-800 にはセーフティロックピンが付いています。セーフティロック機構（ロック穴）を備えている COOLPIX P5000 のアクセサリーシューに取り付けると、スピードライトが不用意に外れるのを防止できます。
- スピードライトの「スタンバイ」機能は、撮影時のカメラの電源 ON と連動します。レディライトの点灯はスピードライト側でご確認ください。
- このカメラにSB-600またはSB-800を取り付けて使用するときは、撮影前にスピードライトの発光モードを TTL にセットしてください。発光の前に少量発光を行う i-TTL 調光（スタンダード i-TTL 調光）が可能になります。i-TTL 調光についての詳しい説明は、スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- このカメラでは、SB-600 および SB-800 のアドバンストワイヤレスライティング（ワイヤレス増灯）、発光色温度情報伝達、オート FP ハイスピードシンクロ、FV ロック撮影、マルチエリアアクティブ補助光の各機能は使えません。
- SB-600およびSB-800のオートパワーズーム機能を使用すると、レンズの焦点距離に合わせて照射角が自動的にセットされます。
- SB-600およびSB-800使用時に、2 mより近くにある被写体をズームの広角側で撮影すると、画像の周辺が暗くなることがあります。その場合は、ワイドパネルをお使いください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ / ファインダー	レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。
液晶モニター	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと、液晶モニター表面の保護アクリルが傷つくことがありますのでご注意ください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。 **ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。**

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源が OFF になっていることをご確認ください。次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50 ℃以上、または－ 10 ℃以下の場所
- 湿度が 60% を超える場所

他社製のスピードライトについてのご注意

他社製スピードライト（カメラのアクセサリーシューにマイナス電圧や 250V 以上の電圧がかかるものや小さな接点が触れてしまうもの）を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけではなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損することがあります。

取り扱い上のご注意

カメラについて

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズやレンズバリアーに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射はCCDの褪色や焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には

長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニター表面の保護アクリルが傷つく原因になります。もしホコリやゴミなどが付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアーについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような現象（赤い帯状）が発生することがあります。この現象をスミアー現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

●セルフタイマーランプ/AF補助光について

セルフタイマーランプ/AF補助光（☞4、29、30）に使用されているLED（発光ダイオード）は、以下のIEC規格に準拠しています。

クラス1 LED製品

IEC60825-1 Edition 1.2-2001

バッテリーについて

●使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。充電は室温（5 ～ 35 ℃）で行ってください。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

●充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がる場合がありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなる場合は、バッテリーの温度が下がるのを待ってから、充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーをお使いになると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は充分に充電されたバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互にお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻るとお使いいただける場合があります。

●バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、ご注意ください。

●残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON/OFF を繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

●保管について

- お使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れ続けることで過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーをしばらくお使いにならないときは、使い切った状態で保管してください。
- 長期間保管するときは、年に 1 回程度、充電してから使い切り、保管してください。
- 付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が 15 ～ 25 ℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

●寿命について

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお求めください。

●リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下の通りです。

表示	意味	対処法	👁
⊕ （点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	15、114
▭	バッテリー残量が少なくなりました。	バッテリーの充電や交換の準備をしてください。	11、13
ⓘ 電池残量がありません	バッテリー残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	11、13
AF ● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • AF ロック撮影をお試しください。	23 102
ⓘ 記録中 しばらくお待ちください ⌛	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	–
ⓘ カードがロック されています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	17
ⓘ このカードは使用 できません ⓘ カードに異常があります	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードをお使いください。 • カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。 • カードが正しく挿入されているかご確認ください。	124 – 17
ⓘ 初期化されていません いいえ 初期化する	SD カードが、COOLPIX P5000 用に初期化されていません。	［**初期化する**］を選んで Ⓚ ボタンを押し、SD カードを初期化してください。	18
ⓘ メモリー残量が ありません	データを記録する空き容量がありません。	• 画質または画像サイズを変更してください。 • 不要な画像や音声データを削除してください。 • SD カードを交換してください。 • SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーをお使いください。	87、88 25、69、109 17 18

表示	意味	対処法	
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	120
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	17 120
	編集できない画像を編集しようとしました。	トリミングやD-ライティング、スモールピクチャーが可能な条件をご確認ください。	55
	オープニング画面に登録できない画像です。	スモールピクチャーやトリミングで作成した画像で、画像サイズが 320 × 240 以下のもの、[3648 × 2432] または [3584 × 2016] のものは、登録できません。	–
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	25、109
音声を登録できません。	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	17 120
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	124
撮影画像がありません	• 撮影済みの画像または録音された音声データがありません。 • SD カードに画像または音声データが入っていません。	–	–
音声データがありません		内蔵メモリーからSDカードにコピーする場合は、MENU ボタンを押してください。[画像コピー] または [音声データコピー] 画面が表示されます。	70、110
インデックスがありません	インデックスが付いていない音声データの再生時に ⏮ または ⏭ を選択しました。	音声の録音中にマルチセレクターの**上下左右**を押して、インデックスを付けてください。	67
このファイルは表示できません	パソコンや他社のカメラで作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	–
このデータは再生できません			–

表示	意味	対処法	📖
ⓘ 表示可能な画像がありません	内蔵メモリー /SD カード内の画像がすべて非表示設定されています。	［**非表示設定**］で画像の非表示設定を解除してください。	110
ⓘ このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	109
ⓘ この画像はすでに編集されています。D- ライティングはできません	D- ライティングができない画像に対して、D- ライティングを行おうとしました。	画像の編集で作成された画像に対して、D- ライティングを行うことができません。	55
ⓘ 自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	143
ⓘ モードダイヤルの位置がずれています	モードダイヤルが正しい位置にセットされていません。	モードダイヤルを回して、カメラの指標にいずれかのモードを合わせてください。	8
レンズエラー ❗	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	14
ⓘ 通信エラー	パソコンやプリンターとの通信中に、USB ケーブルが外れました。	パソコンに警告メッセージが表示された場合、［**OK**］をクリックして PictureProject を終了してください。カメラの電源を OFF にしてケーブルを再接続してから、もう一度転送してください。	75、78
	お使いのパソコンのOSとカメラのUSB通信方式の組み合わせでは、転送できません。	セットアップメニューの［**インターフェース**］→［**USB**］の設定をご確認ください。	73、74
	PictureProject が起動していません。	–	–
ⓘ 転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないのに、パソコンに画像を転送しようとしました。	転送マークを設定してから転送してください。	109、121
ⓘ 転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンの接続状況やバッテリー残量をご確認ください。	19、75

表示	意味	対処法	🔍
システムエラー ❗	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源を OFF にしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源を ON にしてください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	13、14
❗🖨 プリンターエラー プリンターを確認 してください	プリンターに異常があります。	用紙切れなどエラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んで ㊍ ボタンを押すと、プリントが再開されます（エラー内容によっては、［**継続**］を選べない場合があります）。	–
❗🖨 プリンターエラー 用紙を確認 してください	指定したサイズの 用紙がセットされて いません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んで ㊍ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
❗🖨 プリンターエラー 紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んで ㊍ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
❗🖨 プリンターエラー 用紙がありません	用紙がセットされて いません	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んで ㊍ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
❗🖨 プリンターエラー インクを確認してください	インクに異常が あります。	インクを確認した後、［**継続**］を選んで ㊍ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
❗🖨 プリンターエラー インクがありません	インクがなくなり ました。	インクを交換した後、［**継続**］を選んで ㊍ ボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
❗🖨 プリンターエラー ファイルが異常です	プリントする画像 ファイルに異常が あります。	［**キャンセル**］を選び ㊍ ボタンを押して、プリントを中止してください。	–

※プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示、設定、電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
カメラの電源が 突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しない場合があります。	19 21 128
液晶モニターに 何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。シャッターボタンを押してください。 • 液晶モニターが消灯しています。IOI（モニター）ボタンを押して液晶モニターを点灯してください。 • フラッシュランプが赤色点滅している場合は、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 • AV ケーブルが接続されています。 • 微速度撮影中やインターバル撮影中は液晶モニターが消灯します。	14 19 21 10 27 75 72 63、98
液晶モニターが よく見えない	• 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動するか、ファインダーをお使いください。 • 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。 • 節電機能により液晶モニターが約 50% の明るさになっています。	21 116 127 21
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない場合は（撮影時に時計マークが点滅している）静止画の撮影日時が［0000/00/00 00:00］、動画の撮影日時や音声レコードの録音日時が［2007/01/01 00:00］と記録されます。セットアップメニューの［**日時設定**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	15、114 114

●デジタルカメラの特性について

きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源を OFF にしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源を ON にしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたは SD カードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

こんなときは	考えられる原因や対処法	参照
撮影情報や画像情報が表示されない	• 撮影情報、画像情報を非表示にしている可能性があります。設定内容の情報が表示されるまで、IOI（モニター）ボタンを押してください。 • スライドショーが行われています。	10 108
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**日時設定**］が設定されていません。	15、114
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	以下の場合、日付は印字されません。 • シーンモードの （スポーツ）、（ミュージアム）、（パノラマアシスト）のとき • 撮影メニューの［**連写**］モードが［**連写**］または［**フラッシュ連写**］のとき、［**BSS**］が［**ON**］のとき、［**ブラケティング**］が［**OFF**］以外のとき • （ブレ軽減）モードのとき • 動画	 35、38、40 97、99、100 44 60
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	114

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	参照
撮影できない	• バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しています：フラッシュが充電中です。	19 27
ピントが合わない	• ピントが合いにくい被写体（明暗差がはっきりしない / 遠くのものと近くのものが混在する / 連続した繰り返しパターン / 極端な輝度差がある / 背景に対してメインの被写体が小さい / 絵柄が細かい）を撮影している場合は、フォーカスロックを利用して撮影してください。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］が［**OFF**］になっています。 • シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。 • 電源を入れ直してください。	24 118 35、101 14

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がブレる	• フラッシュをお使いください。 • ((✋))（ブレ軽減）モードで撮影してください。 • セットアップメニュー［**手ブレ補正**］を［**ON**］にしてください。 • BSS（ベストショットセレクター）をお使いください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。 • カメラに装着したコンバーターと［**コンバーター**］の設定が異なっています。撮影の前に必ず［**コンバーター**］の設定を確認してください。	27 44 118 99 30 104
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを ⊛（発光禁止）にしてください	29
内蔵フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • 動画モード（［**微速度撮影 640★**］を除く）になっています。 • 撮影メニュー［**連写**］モードが［**連写**］になっています。 • ［**BSS**］が［**ON**］になっています。 • ［**ブラケティング**］が［**OFF**］以外になっています。 • ［**コンバーター**］が［**OFF**］以外になっています。 • ［**発光切り換え**］が［**内蔵発光禁止**］になっています。 • 別売のスピードライト（外付けフラッシュ）使用時は、内蔵フラッシュは発光しません。	27 34 60 97 99 100 104 103 126
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	60
電子ズームが使えない	以下の場合、電子ズームは使用できません。 • シーンモードの（顔認識 AF）、（ポートレート）、（夜景ポートレート）のとき • セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。	 34、36 119
［**画像サイズ**］を選べない	［**ISO感度設定**］が［**3200**］のときは、［**3648×2736**］、［**3:2 3648 × 2432**］、［**16:9 3584 × 2016**］は選択できません。	95

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］→［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。 • 撮影メニューの連写モードが［**連写**］または［**フラッシュ連写**］になっています。 • ［**BSS**］が［**ON**］になっています。 • ［**ブラケティング**］が［**OFF**］以外になっています。 • シーンモードが（スポーツ）または（ミュージアム）になっています。 • （ブレ軽減）モードまたはモードになっています。	119 97 99 100 35、38 44、60
AF 補助光が点灯しない	• セットアップメニュー［**AF 補助光**］が［**OFF**］になっています。 • 一部のシーンモードでは点灯しません。	118 34
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	127
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	93
画像がざらつく	• 被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO 感度が高くなっています。 → フラッシュをお使いください。 → 低い ISO 感度にしてください。 → ノイズ低減機能付きのシーンモードで撮影してください。	27 95 36、37
画像が暗すぎる	• （高感度）モードで撮影するか、ISO 感度を上げてください。 • フラッシュモードが（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの（逆光）にするか、フラッシュモードを（強制発光）にして撮影してください。	45、95 27 21 27 32 27、39
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	32
赤目以外の部分が補正された	フラッシュモードが（赤目軽減自動発光）のときや、シーンモードの（顔認識 AF）、（ポートレート）や（夜景ポートレート）で撮影したときには、ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります。このような場合は、上記以外の撮影モードで、フラッシュモードを（自動発光）か（強制発光）にして撮影してください。	27、34、36

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
画像を再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、名前が変更されました。 • 微速度撮影中やインターバル撮影中には画像を再生できません。	– 63、98
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
音声メモを録音できない	動画には音声メモを付けられません。	65
トリミング、D- ライティング、スモールピクチャーの作成ができない	• 動画および［**画像サイズ**］が［**3:2 3648 × 2432**］または［**16:9 3584 × 2016**］の画像は編集できません。 • トリミングや D- ライティング、スモールピクチャーが可能な条件をご確認ください。 • 次のような場合は動作を保証していません。 - このカメラ以外で撮影した画像を編集する - このカメラで編集した画像をこのカメラ以外で再生する	65、88 55 –
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**インターフェース**］の［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	121 17
カメラをパソコンに接続しても、PictureProject が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • セットアップメニュー［**インターフェース**］→［**USB**］が正しく設定されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • PictureProject が自動起動しない設定になっています。 PictureProject については、付属の PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご参照ください。	14 19 75 73、74 – –
転送マークを付けられない	1000 コマ以上に転送マークを付けることはできません。PictureProject の［**転送**］ボタンで転送してください。	75
転送マークを付けたのに、認識されない	このカメラ以外のカメラで転送設定した画像です。もう一度このカメラで転送マーク設定を行ってください。	76、109
画像を転送できない	以下の場合、カメラの OK ボタンでは転送できません。PictureProject の［**転送**］ボタンで転送してください。 • 内蔵メモリー使用時で、［**USB**］が［**Mass Storage**］の場合 • SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されている場合	73、74 17

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
転送/プリントする画像が表示されない	画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を転送/プリントするときは SD カードを取り出してください。	17
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」を行うことができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側からの「用紙設定」にプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	 82 –

資料集

初期設定一覧

セットアップメニューの［**設定クリアー**］（122）で初期設定に戻る項目は、以下の通りです。

クリアーされる項目	初期設定
撮影の基本機能（27～32）	
フラッシュモード	自動発光
セルフタイマー	OFF
フォーカスモード	通常 AF
露出補正	0
シーンモード（33～43）	
シーンモード	顔認識 AF
動画モード（60～65）	
動画設定	カメラ再生 320
微速度撮影のインターバル設定	30 秒
AF-MODE	シングル AF
撮影メニュー（85～105）	
画質	NORMAL
画像サイズ	3648 × 2736
仕上がり設定	標準
カスタマイズ [1]**、白黒のカスタマイズ** [2]	
コントラスト [1, 2]	オート
輪郭強調 [1, 2]	オート
彩度調整 [1]	オート
モノクロフィルター [2]	OFF
ホワイトバランス	オート
ISO 感度設定	オート
測光方式	マルチパターン
連写	単写
インターバル撮影のインターバル設定	30 秒
BSS	OFF
ブラケティング	OFF
AF エリア選択	オート
AF-MODE	シングル AF

クリアーされる項目	初期設定
撮影メニュー（つづき）	
調光補正	0
発光切り換え	オート
ズーム時 F 値保持	OFF
ノイズ低減	OFF
コンバーター	OFF
ワイドコンバーターのゆがみ補正	ゆがみ補正 ON
再生メニュー（106～111）	
スライドショー	–
インターバル設定	3 秒
セットアップメニュー（112～122）	
メニュー切り換え	文字タイプ
高速起動	ON
オープニング画面	アニメーション
画面の明るさ	3
デート写し込み	OFF
手ブレ補正	ON
AF 補助光	Auto
電子ズーム	ON
操作音	–
設定音	ON
シャッター音	1
音量	標準
オートパワーオフ	1 分
インターフェース	–
転送設定	ON
FUNC ボタン設定	ISO 感度設定
その他の設定	
ダイレクトプリントの用紙設定	プリンターの設定

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（142）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー/SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を 0001 に戻したいときは、内蔵メモリー /SD カード内の画像をすべて削除（109）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
- セットアップメニューの［**日時設定**］（114）、［**誕生日カウンター**］の登録日（117）、［**言語**］（121）、［**インターフェース**］（121）の［**USB**］と［**ビデオ出力**］、［**オープニング画面**］（114）として登録した画像。

同時に設定できる機能の制限（85）

P、S、A、M および（高感度）モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できない場合があります。

セルフタイマー	セルフタイマーを ON にすると、 • ［**連写**］モードは設定に関わらず、［**単写**］として動作します。 • ［**BSS**］と［**ブラケティング**］は設定に関わらず、［**OFF**］として動作します。 セルフタイマーを OFF にする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、［**連写**］モード、［**BSS**］または［**ブラケティング**］の設定が元に戻ります。
連写	［**連写**］モードを［**連写**］、［**フラッシュ連写**］、［**インターバル撮影**］のいずれかにすると、［**BSS**］、［**ブラケティング**］は［**OFF**］に変更されます。
BSS	［**BSS**］を［**ON**］にすると、［**連写**］モードは［**単写**］に、［**ブラケティング**］は［**OFF**］に変更されます。
ブラケティング	［**ブラケティング**］を［**± 0.3**］、［**± 0.7**］、［**± 1.0**］にすると、［**連写**］モードは［**単写**］に、［**BSS**］は［**OFF**］に変更されます。

ノイズ低減の自動 ON について

［**ノイズ低減**］の［**自動 ON**］は、［**連写**］モードが［**単写**］、［**BSS**］が［**OFF**］、［**ブラケティング**］が［**OFF**］のときのみ有効になります。

連写時の内蔵フラッシュ、別売スピードライト（フラッシュ）の使用について（97）

各連写モードと組み合わせた場合の内蔵フラッシュまたはスピードライト SB-400、SB-600、SB-800 の動作は次のようになります。

	連写モード			
	単　写	連　写	フラッシュ連写	インターバル撮影
内蔵フラッシュ	使用可能	発光禁止	使用可能	使用可能
スピードライト	使用可能	使用可能	使用可能	使用可能

• 別売スピードライト使用時には、内蔵フラッシュは自動的に発光禁止になります。

ファイル名とフォルダ名

このカメラで撮影した静止画、動画および音声ファイルには、以下のようなファイル名が付けられます。

識別子（カメラの画面には表示されません）：

加工されていない静止画や動画、音声レコード、および静止画に付随する音声メモ	DSCN
トリミング画像	RSCN
スモールピクチャー	SSCN
D- ライティング画像	FSCN
微速度撮影で撮影した画像	INTN

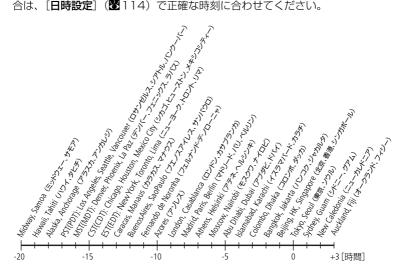
ファイル番号
（0001 からの連番で付けられます）

拡張子
（ファイルの種類を示します）

静止画	.JPG
動画	.AVI
音声メモ、音声レコード	.WAV

- ファイルが保存されるフォルダは、「3 桁のフォルダ番号＋ NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダ内のファイル数が 200 に達すると、新しいフォルダが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダ内のファイル番号が 9999 に達した場合も新しいフォルダが作られ、ファイル番号は 0001 に戻ります。
- 音声レコード（66）のデータは「SOUND」フォルダに保存されます。
- パノラマアシストモード（42）では、撮影のたびに「3 桁のフォルダ番号＋ P_XXX」という名前のフォルダ（例：101P_001）が作られ、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
- インターバル撮影（98）では、撮影のたびに「3 桁のフォルダ番号＋ INTVL」という名前のフォルダ（例：101INTVL）が作られ、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
- 画像データや音声データを内蔵メモリーとSDカードの間でコピーする場合（70、110）、ファイル名は以下のようになります。
  - ［**選択画像コピー**］または［**選択データコピー**］：使用中のフォルダ（または次回の撮影で使われるフォルダ）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよび SD カード内の最大ファイル番号 +1」からの連番で付けられます。
  - ［**全画像コピー**］または［**全データコピー**］：データはフォルダごとにコピーされます。フォルダ名は「コピー先の最大フォルダ番号 +1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダ番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化（120）してください。

タイムゾーンについて（114）

タイムゾーンと時差の関係は以下の通りです。1 時間未満の単位の時差がある場合は、［**日時設定**］（114）で正確な時刻に合わせてください。

主な仕様

ニコン デジタルカメラ COOLPIX P5000

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		10.0 メガピクセル
撮像素子		1/1.8 型原色 CCD、総画素数約 10.37 メガピクセル
レンズ		光学 3.5 倍 ズームニッコールレンズ
	焦点距離	7.5ー 26.3 mm （35 mm 判換算 36ー 126 mm 相当の撮影画角）
	絞り	F2.7ー 5.3
	レンズ構成	6 群 7 枚
電子ズーム		最大 4 倍（35 mm 判換算で約 504mm 相当の撮影画角）
手ブレ補正		レンズシフト方式
オートフォーカス		コントラスト検出方式、マルチエリア AF 可能
	撮影距離	• レンズ前約 30 cm ～∞（最も広角側）、70 cm ～∞（最も望遠側） • マクロ AF 時は約 4 cm ～∞（最も広角側）、40 cm ～∞（最も望遠側）
	AF エリア	オート（9カ所自動選択）、マニュアル（99カ所手動選択）、中央
	AF 補助光	クラス 1 LED 製品（IEC60825-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値 1500μW
ファインダー		実像式光学ズームファインダー、LED 表示
	視野率	上下左右とも約 80%（対実画面）
液晶モニター		広視野角 2.5 型 TFT 液晶、反射防止コート付き、約 230,000 ドット、輝度調節機能付き（5 段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約 97%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約 100%（対実画面）
記録形式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 21 MB）、SD メモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF 準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 FINE（約 1/4 圧縮）、NORMAL（約 1/8 圧縮）、BASIC（約 1/16 圧縮） 動画：AVI　音声：WAV

項目	仕様
画像サイズ（記録画素数）	• 3648 × 2736 ［10 M］ • 2592 × 1944 ［5 M］ • 2048 × 1536 ［3 M］ • 1600 × 1200 ［2 M］ • 1280 × 960 ［1 M］ • 1024 × 768 ［PC］ • 640 × 480 ［TV］ • 3648 × 2432 ［3：2］ • 3584 × 2016 ［16：9］
ISO 感度	ISO 64、100、200、400、800、1600、2000、3200、オート（ISO 64 ～ 800）
露出	
測光方式	マルチパターン測光（256 分割）、中央部重点測光、スポット測光、AF スポット測光（99 点 AF 対応）
露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、ブラケティング、露出補正（± 2 段の範囲で 1/3 段刻み）可能
露出連動範囲（ISO 100）	広角側：－ 1.0 ～ +17.5 EV 望遠側：＋ 0.9 ～ +16.4 EV
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	1/2000 ～ 8 秒
絞り	6 枚羽根虹彩絞り
制御段数	10（1/3 EV ステップ）
セルフタイマー	約 10 秒、約 3 秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲（ISO 感度設定オート時）	約 0.3 ～ 8 m（広角側）、約 0.3 ～ 4 m（望遠側）
調光方式	自動調光制御
アクセサリーシュー	ホットシュー（ISO 518）、セーフティーロック機構（ロック穴）付き
シンクロ接点	X 接点のみ
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	デジタル端子（USB）/ オーディオビデオ（AV）出力端子
言語	日本語、英語の 2 言語

電源	• Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池；付属）× 1 個 • AC アダプターキット EH-62A（別売）
撮影可能コマ数（電池寿命）※	約 250 コマ（EN-EL5 使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 98 × 64.5 × 41 mm（突起部除く）
質量	約 200 g（バッテリー、SD メモリーカード除く）
動作環境	
使用温度	0 ～ 40 ℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

• 仕様中のデータは、すべて常温 (25 ℃)、リチャージャブルバッテリー EN-EL5 をフル充電で使用時のものです。

※電池寿命測定方法を定めた CIPA(カメラ映像機器工業会) 規格によるものです。
測定条件は、23（± 2）℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でフラッシュ撮影、画質［NORMAL］、画像サイズ［ 3648 × 2736］です。
撮影間隔、メニュー表示時間、画面表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

バッテリーチャージャー MH-61

電源	100 ― 240 V AC　50/60 Hz　0.12 ― 0.08 A
定格入力容量	11― 16VA
充電出力	DC 4.2 V / 950 mA
適応充電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5
充電時間	約 2 時間　※残量のない状態からの充電時間
使用温度	0 ～ 40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 67 × 26 × 67 mm（突起部除く）
電源コード	長さ約 2 m、日本国内専用 AC 100 V 対応
質量	約 70 g（電源コードを除く）

リチャージャブルバッテリー EN-EL5

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	3.7 V/1100 mAh
使用温度	0 ～ 40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 36 × 54 × 8 mm（突起部除く）
質量	約 30 g（端子カバーを除く）

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system（DCF）：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF（Digital Print Order Format）：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif（Exchangeable image file format）Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご参照ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

（［ ］内の項目はメニュー項目です）

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社のホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】

太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日
お買い上げ日：　　　　年　　月　　日
製品名：　　　　シリアル番号：
フリガナ お名前：
連絡先ご住所：□自宅　□会社 〒 TEL: FAX:
ご使用のパソコンの機種名： メモリー容量：　　　　ハードディスクの空き容量： OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：
問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※ このページはコピーしてお使いください。

※ 整理番号

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

全国共通
☎0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS、IP電話等をご使用の場合は、
(03) 5977-7033 におかけください。
FAXでのご相談は、**(03) 5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理サービスの申し込みができます。
「修理見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/service/repair/index.htm

<インターネットを利用できない方のお問合せ>
ニコンカメラ販売（株）　サービス部　　**電話：(045) 500-3050**
営業時間：9:30～17:30（土・日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日）

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB7F03(10)
6MA28510--